

官報

號外

昭和六年二月二十八日

第五十九回帝國議會 貴族院議事速記第二十二號

昭和六年二月二十七日(金曜日)午前十時二十六分開議

議事日程 第二十二號

昭和六年二月二十七日

午前十時開議

第一 國務大臣ノ演說ニ關スル件(第二十一日)

第二 地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第三 著作權法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 大正十三年法律第二號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

一昨二十五日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表(第五回報告)

昨二十六日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

船舶積量測定法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

取引所稅法中改正法律案

同日政府ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

第五十九回帝國議會内務省所管事務政府委員

内務書記官 鈴木 敬一君

本日理事補償法案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 侯爵中御門經恭君

副委員長 鷗澤 總明君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、請願ノ件ニ付キ御諮リヲ致シマス、犬塚勝太郎君病氣ニ付キ二十日間、安樂兼道君病氣ニ付キ十五日間ノ請願ノ申出ガゴザイマシタ、何レモ許可シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程變更ニ關シ御諮リヲ致シマス、本日ノ日程第二、第三、第四ヲ第一ノ前ニ付議シタイト存ジマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、地方鐵道補助法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、鐵道大臣、江木翼君

地方鐵道補助法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和六年二月二十四日

衆議院議長 藤澤幾之輔

貴族院議長 公爵德川家達君

地方鐵道補助法中改正法律案

地方鐵道補助法中左ノ通改正ス

附則第二項ヲ左ノ如ク改ム

本法ハ昭和六年一月一日以後ニ免許ヲ申請シタル地方鐵道、同七年一月一日以後ニ免許ヲ受ケタル地方鐵道及同十二年一月一日以後ニ營業ヲ開始シタル地方鐵道ニハ之ヲ適用セス

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 現行地方鐵道補助法附則第二項ノ規定ニ依リマス、昭和七年一月一日以後ハ新クニ補助ヲ爲スコトガ出來ナイコトニナツテ居ルノデゴザイマス、而シテ地方鐵道ノ現狀ヲ見マスルニ、開業線四千餘哩中、現ニ本年度ニ於テモ七百五十萬圓ノ補助金ヲ支給イタスコトニ依ッテ、營業ヲ爲シツツアル狀態ニアリマスモノガ、一千餘哩ニ及ビ、尙ホ既ニ免許ヲ受ケテ工事ニ著手シ、若クハ其準備計畫中ニ屬シマスモノガ、三千餘哩ニ達シテ居ルノデアリマス、是等ノ未成線中ニハ相當助成ヲ必要トスルモノモ多數存在スルコトト推測イタスノデアリマス、事情右様ノ次第デアリマスルカラ、本附則ヲ改正イタシマシテ、補助ヲナス期間ヲ延長セムトスルノデアリマス、去リナガラ地方鐵道モ今ヤ新興交通機關デアリマス所ノ自動車ノ進出ニ依リテ、漸次壓迫ヲ受ケ、業績ノ低下

ヲ來シツツアルノデアリマシテ、地方鐵道方現在ノヤウニ普及イタシマシタ點カラ考ヘマシテモ、將又其助成ノ效果ト云フ點カラ考ヘマシテモ、從來ノ補助ヲ無條件ニ延長スルト云フコトハ、國有鐵道財政ノ將來ト併セ考ヘテ困難ト致ス所デアリマス、茲ヲ以テマシテ、一面企業者ノ期待ヲ尊重イタシマスト共ニ、他面國家財政ノ負擔ヲ成ベク輕減スルノ趣旨ヲ以テマシテ、本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒慎重御審議ノ上ニ宜シク速カニ御協贊アラムコトヲ希望イタス次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質疑モナイト認メマスカラ、本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀨古書記官朗讀〕

地方鐵道補助法中改正法律案特別委員

侯爵德川 賴貞君 伯爵樺山 愛輔君

子爵新庄 直知君 子爵瀧脇 宏光君

大島 健一君 男爵近藤 滋彌君

山之内 一次君 八田 嘉明君

土田 萬助君

○議長(公爵德川家達君) 日程第三、著作權法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、柳原伯爵

著作權法中改正法律案

右別冊ノ通修正議決セリ依テ及報告候也

昭和六年二月二十四日

委員長 伯爵柳原 義光

貴族院議長 公爵德川家達君

〔特別委員ノ修正ニ係ル條ノミヲ印シテ付ス小字及ハ修正ナリ〕

第一條第一項中「美術」ヲ「美術(音楽ヲ含ム以下之ニ同ジ)」ニ改ム

二六五

第十八條 他人ノ著作物ヲ發行又ハ興行スル場合ニ於テハ、○著作者ノ生存中ハ、著作權ヲ有スルト否トニ拘ラズ又其ノ生存中タルト死後タルトニ拘ラズ其ノ

同意ナクシテ其ノ氏名稱號ヲ變更又ハ隱匿シ又ハ其ノ著作物ニ改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘ若ハ其ノ題號ヲ改ムルコトヲ得ズ

他人ノ著作物ヲ發行又ハ興行スル場合ニ於テハ著作者ガ現ニ其ノ著作權ヲ有タル後ト雖モ其ノ著作物ニ改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘテ著作者ノ意ヲ害シ又ハ其ノ題號ト死後タルトニ拘ラズ其ノ同意ナクシテ改メ若ハ著作物ノ氏名稱號ヲ變更若ハ隱匿シ又ハ其ノ題號ヲ改ムルコトヲ得ズ

又ハ其ノ題號ヲ改ムルコトヲ得ズ但シ著作者ノ聲望名譽ヲ害セザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前二項ノ規定ハ第二十條第二十條ノ二第二十二條ノ五第二項及第三十條第一項第二號乃至第六號ノ場合ニ於テモ之ヲ適用ス

第二十條 新聞紙又ハ雜誌ニ掲載シタル經濟上、政治上又ハ宗教上ノ時事問題ヲ論議シタル記事。○學術上ノ著作物ヲ除ク、ル旨ノ明記ナキトキハ其ノ出所ヲ明示シテ之ヲ他ノ新聞紙又ハ雜誌ニ轉載スルコトヲ得

第二十二條ノ五 文藝、學術又ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作權ハ其ノ著作物ノ無線電話ニ依ル放送ヲ許諾スルノ權利ヲ包含ス

無線電信法及之ニ基キ發スル命令ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル放送無線電話施設者ハ既ニ發行又ハ興行セラレタル他人ノ著作物ヲ放送セントスルトキハ著作權者ト協議ヲ爲スコトヲ要ス協議調ハザルナキ場合ト雖モ之ヲ放送スルコトヲ得トキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ定ムル相當ノ價金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ相當ノ價金ヲ支拂ヒ其ノ著作物ヲ放送スルコトヲ得

前項ノ價金ノ額ニ付異議アル者ハ民事裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第三十六條ノ二 第十八條ノ規定ニ違反シタル行爲ヲ爲シタル者ニ對シテハ著作權者ハ著作權タルコトヲ確保シ又ハ○訂正其ノ他
○其ノ聲望名譽ヲ回復スルニ適當ナル處分ヲ請求シ及民法第三編第五章ノ規程ニ從ヒ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得
第十八條ノ規定ニ違反シタル行爲ヲ爲シタル者ニ對シテハ著作權者ノ死後ニ於テハ著作權者ノ父、母、配偶者又ハ子ニ於テ其ノ著作權タルコトヲ確保シ又ハ○訂正其ノ他
○其ノ聲望名譽ヲ回復スルニ適當ナル處分ヲ請求スルコトヲ得
前二項ノ規定ニ依リ民事ノ訴訟ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス
○伯爵柳原義光君演壇ニ登ル
○伯爵柳原義光君 只今議題ニ相成テ居リマシテ、著作權法中改正法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ成ルベク簡單ニ御報告申上ゲマス、此委員會ハ數回開キマシテ、政

府委員ニ付キマシテ詳細ナル説明ヲ承リ、是ニ付キマシテ委員ヨリ微ニ入り細ニ互リ、幾多ノ質問應答ヲ重ネマシテ、而シテ其結果、委員タル水野鍊太郎君ヨリ修正案ガ提出イタサレタノデアリマス、其修正案ハ諸君ノ御手許ニ配付ニ相成テ居ルコトト信ジマスノデアリマス、而シテ全會一致ヲ以テマシテ此修正案ヲ委員會ニ於テハ可決イタシタノデアリマス、而シテ其修正案ニ觸レザル點ハ全部政府原案ヲ承認、全會一致ヲ以テ同様可決ヲ致シタノデアリマス、又此委員會ニハ文部大臣モ出席イタサレマシテ答辯ヲ致サレタノデアリマス、簡單ニ申上ゲマス、本案提出ノ要旨ハ、昭和三年ニ伊太利羅馬ニ於テ開カレタル文學的及ヒ美術的著作物保護ニ關スル「ベルヌ」條約改正會議ノ結果、現行法ニ多少ノ修正ヲ加フル必要ガアルト同時ニ、現時我國ニ於ケル文運ノ進歩ニ伴ヒマシテ、多少修正ヲ加ヘル必要ノアルモノガアリマシタガ爲ニ、政府ガ此修正案ヲ提出イタサレタノデアリマス、其修正案ノ要點ハ、第一番ニハ、専ラ著作權者ノ人格權ヲ保護シタノデアリマス、第二ニハ活動寫眞及映畫ノ保護ヲシタノデアリマス、第三ニハ著作物ヲ「ラヂオ」ニ放送スル場合ニ關スル保護ヲシタノデアリマス、第四ハ時事問題ニ付テ公開ノ席上ニ爲シタル演説ノ保護、及之ヲ新聞雜誌等ニ掲載スル特權等ニ付テノ規定及保護ヲ致シタノデアリマス、第五ハ新聞雜誌ノ記事ニ轉載スル規定ノ改正ヲ致シタノデアリマス、是ガ政府ガ修正案ヲ企テラレタ所ノ趣旨ノ極メテ要點デアリノデアリマス、而シテ委員會ニ於テ修正ヲ致シマシタル修正案ノ要旨ハ、勿論此政府案ノ根本ノ趣旨ニハ必ズシモ觸レテ……大差ハナイノデアリマス、大體ニ於テハ政府案ト大差ハナイノデアリマス、唯此法律ヲ更ニ完璧ニシ、又世間ニ於テ往々問題ト相成テ居リマスル所ヲ、極メテ明確ニシテ、此法律ノ施行ヲ圓滿ニシヤウト云フノガ、此修正ヲ致シタル所ノ趣旨デアリマス、後デ詳シイコトハ大體申上ゲマス、大體此修正案ノ要旨ハ五ツアリマス、第一ハ、第一條中ニ「美術」ノ後ニ更ニ「音樂」ノ二字ヲ挿入シタノデアリマス、ソレカラ次ハ十八條第二項ノ「聲望名譽」ト云フ四字ガアルノデアリマス、此「聲望名譽」ナル四字ヲ全然削除イタシマシテ、而シテ又作家生存中ハ其同意ヲ要スルコトトシテ、ソレカラ又死後ニ於テハ其意ヲ害セザル限リ……其死後ハ其意ヲ害セザル限リトノ制限ヲ加ヘタノデアリマシテ、讀本モ亦是ニ準ズルコトニ致シタノデアリマス、又第二十條ノ時事問題ノ中ニ、經濟、宗教ト云フ字ガアリマスガ、全然此字ヲ削リマシテ、單ニ政治上ノミニ限リ、轉載シ云々ト、政治ト云フ字ダケニ致シタノデアリマス、ソレカラ第二十二條ノ五第二項「ラヂオ」放送ハ作家ト一應協議シテ、而シテ其協議ガ不調ノ場合ニノミ主務大臣ノ定ムル相當額ノ價金ヲ豫メ支拂フ後ニ於テ、之ヲ放送シ得ル、斯ウ云フコトヲ修正案デアリマス、ソレカラ第三十六條ノ二第二項ニ「父母、配偶者又ハ子」ト云フノヲ、之ヲ「親族」ト云フコトニ改メマシテ、即チ其範圍ヲ擴メタノデアリマス、大體此修正ノ趣旨ヲ是ヨリ簡單ニ御説明申上ゲマス、ソレデ只今第一條第一項中ニ「美術」ト云フ文字ノ外ニ「音樂」音樂ヲ含ム以下之ニ同ジ」ト云フ譯デ、此「音樂」ト云

フ字ヲ入レタノデアリマス、廣イ意味ニ於テハ勿論美術ノ中ニ音樂ハ含ムノデアリマス、去リ乍ラ社會上用語ノ通稱ト致シマシテハ、只今ハ音樂、美術ト云フモノハ自ラ別ニ取扱フテ居ルヤウデアリマス、卑近ナ例ヲ以テ申セバ美術學校ト云フモノガアリ、是ニ對シテ音樂學校ト云フモノガアル、斯ノ如ク音樂、美術ト云フモノハ通常ノ用ヒ方ニ於テハ別ニ致シテ居リマスカラ、此際ハ矢張り此美術ノ以外ニ於テ、音樂ト云フ字ヲ入レテ、第一項中ノ「美術」ト云フ所ヲ、「美術(音樂ヲ含ム以下之ニ同ジ)」斯ウ云フ修正ヲシテ、即チ「音樂」ト云フ字ヲ入レテ其意義ヲ明確ニシタ譯デアリマス、ソレカラ第十八條ノ修正ハ是ハ專ラ著作ノ人格權ヲ保護スル規定デアリマシテ、要スルニ此案ノ最モ大切ナル骨子ト相成ルベキモノデアアルノデアリマス、ソレデ政府ノ提案ニ依リマスト「他人ノ著作物ヲ發行又ハ興行スル場合ニ於テハ著作ガ現ニ其著作權ヲ有スルト否トニ拘ラズ又其ノ生存中タルト死後タルトニ拘ラズ其ノ同意ナクシテ其ノ氏名稱號ヲ變更又ハ隱匿スルコトヲ得ズ」斯ウアルノヲ、之ヲ著作ガ生キテ居マス場合ヲ規定イタシマシテ、「著作ノ生存中ハ」ト云フ文字ヲ……興行スル場合ニ於テハ」ト云フ下ニ「著作ノ生存中ハ」ト云フ字ヲ入レタノデアリマス、ソレカラ「又其ノ生存中タルト死後タルトニ拘ラズ」ト云フノヲ之ヲ削除イタシマシテ、其ノ同意ナクシテ著作ノ氏名稱號ヲ變更若ハ隱匿シ又ハ其ノ著作物ニ改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘ若ハ其ノ題號ヲ改ムルコトヲ得ズ」云々トシタノデアリマシテ、是ハ著作ガ生キテ居ル場合ニ對シテ、著作ノ人格權ヲ認メ之ヲ保

護シ之ヲ尊重スル規定デアリマス、ソレカラ其次ハ二項ハ死後ニ關スルコトデアリマシテ、原案ハ「他人ノ著作物ヲ發行又ハ興行スル場合ニ於テハ著作ガ現ニ其ノ著作權ヲ有スルト否トニ拘ラズ又其ノ生存中タルト死後タルトニ拘ラズ其ノ同意ナクシテ之ニ改竄、増減其ノ他ノ變更ヲ加ヘ又ハ其ノ題號ヲ改ムルコトヲ得ズ但シ著作ノ聲望名譽ヲ害セザルトキハ此ノ限ニ在ラズ」是ガ原案デアリマス、然ル所修正案ニハ、前ヲ省キマスルガ「著作ノ死後ハ著作權ノ消滅シタル後ト雖モ其ノ著作物ニ改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘテ著作ノ意ヲ害シ又ハ其ノ題號ヲ改メ若ハ著作ノ氏名稱號ヲ變更若ハ隱匿スルコトヲ得ズ」斯ウ云フ風ニ致シタノデアリマシテ、即チ此著作ノ意ヲ害スト云フノハ、例ヘバ假名ノ訂正デアルトカ、文字ノ誤植トカ云フヤウニ、誰ガ考ヘテ見テモ誤植デアルト云フヤウナ些細ナ場合ニ於テハ、是ハ著作ノ意ヲ害スルノデナイノデアリマスカラ、改竄シテモ差支ナイノデアリマスカラ、其他ノコトハ全然矢張り生キテ居ル著作ト同ジヤウニ、著作ガ死シタ場合ニ於テモ、人格權ヲ最モ尊重スルコトヲ致シマシテ、原案ヨリハ最モ強ク著作ノ人格權ヲ確保認シタ規定デアリマス、而シテ「但シ著作ノ聲望名譽ヲ害セザルトキハ此ノ限ニ在ラズ」ト云フ文句ハ勿論之ヲ削除シテシマッタノデアリマス、此著作ノ聲望名譽ヲ害セザルトキハ此ノ限ニ在ラズ」ト云フ是ハ最モ問題ノアツタ點デアリマシテ、著作ノ聲望名譽ト云フコトハ極メテ漠然タルモノデア

テ、著作ノ側カラ見ルト、是ハ重大ナルコトデアッテ、是ハ最モ是點ニ留意シテ、聲望名譽ヲ害セザルケメニ、深ク之ヲ尊重セヌケレバナラヌト云フ場合ニモ、著作以外ノモノカラ見マスルト、左程ニ此ノ聲望名譽ヲ害セヌト云フヤウニ見ラレル場合モ多イノデアッテ、此點ハ實例ガ澤山アリマシテ、著作ガ往々此點ニ於テ聲望名譽ヲ害セラレタト認メテ不快ニ思ヒ、之ニ異議ヲ挾メル場合ガ澤山アツタノデアリマス、殊ニ此ノ讀本ヲ編纂スル場合ニ於テハ、最モ著作ノ不満足ヲ買フタ點ガ今日マデニ多クアツタノデアリマス、斯ノ如ク聲望名譽ト云フヤウナ、見ル人ノ解釋ニ依ッテ二三……ドウニデモナルヤウナ規定ハ、全然省イテシマッタ方ガ穩當デアルト考ヘマシタガ故ニ、是ハ全然省キマシテ、專ラ著作ノ人格權ヲ擁護ニ深ク留意イタシテ委員會修正案ヲ提出シタ次第デアリマス、ソレカラ第二十條ノ原案ニハ「新聞紙又ハ雜誌ニ掲載シタル經濟上、政治上又ハ宗教上ノ時事問題ヲ論議シタル記事」云々ト云フコトガアルノデアリマスルガ、誠ニ是デハ經濟トカ、宗教トカ云フコトハ範圍ガ廣イノデアッテ、教育問題モ宗教ニ涉ルコトモアリ、又經濟問題、財政問題、誠ニ其間ノ區別ガムヅカシイノデアリマスカラ、寧ろ單ニ是ハ政治上、政治上ノ時事問題ト云フコトニシテ、政治ト云フ範圍ニ總テノモノヲ籠メテシマフ方ガ穩健デアルト云フノデ、此經濟上、宗教上ト云フ文字ヲ省キマシテ、政治上ト云フ意味ニ於テノ此規定ヲ明カニシタノデアリマス、即チ時ノ政治問題デアリマスレバ產業ノ問題デモ、文藝ノ問題デモ、交通ノ問題デモ、宗教ノ問題デモ皆此政治上ノ時事問

題ト云フコトニ含ムコトガ出來マスルガ故ニ、斯ノ如クニ致シタノデアリマス、ソレカラ第二十二條ノ五ハ專ラ此ノ「ラヂオ」ヲ放送スル場合ヲ規定イタシタノデアリマシテ、是ハ文藝、學術又ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作權者ハ其ノ著作物ヲ無線……「ラヂオ」ニ放送スルコトヲ許諾スル所ノ權利ヲ有シテ居ルノデアリマス、而シテ今マデハ、此ノ放送……他人ノ著作物ニ付テハ許諾ナキ場合ト雖モ之ヲ放送シテ、サウシテ後カラ相當ノ償金ヲ拂フコトヲ要スト云フ此原案ハ規定デアリマス、是モ矢張り著作ノ人格權ヲ認メマシテ、「他人ノ著作物ヲ放送セントスルトキハ著作權者ト協議ヲ爲スコトヲ要ス」ト斯ウ致シタノデアリマス、若シ其「協議調ハザルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ定ムル相當ノ償金ヲ支拂」テ其著作物ヲ放送スルコトガ出來ル、斯ウ云フ規定ニ致シタノデアリマス、主務大臣トハ專ラ此場合ニハ遞信大臣ト内務大臣デアアルノデアリマス、又此主務大臣ガ定ムル所ノ相當ノ償金ニ付テ異議ノアル場合ニ於テハ始メテ裁判所ニ出訴スルコトヲ得テ、裁判所ニ於テ之ヲ正ス、斯ウ云フコトニ規定ヲ致シタノデアリマス、修正ノ趣旨ハ矢張り左様デアアルノデアリマス、ソレカラ第三十六條ノ此著作ガ死後ニ於キマシテハ著作ノ親族……「著作ノ父母、配偶者又ハ子ニ於テ」ト云フノヲ、之ヲ範圍ヲ擴メテ、「親族」ト云フコトニ致シタノデアリマス、即チ是ハ範圍ヲ擴メタノデアリマス、大體此修正案ノ說明ハ斯ノ如キモノデアリマス、ソレデ又政府委員ガ言ハレルノニ、元來改正法律案ハ今回ハ羅馬會議ノ結果ニ基イテ爲シタル所ノ小修正デアアルノデアッテ、

來ル昭和十年ニ著作權ノ同盟會議ガアルカ
ラ、其時ニハ根本的ニ更正ヲ加ヘ
ル、修正ヲ加ヘル積リデアアル、斯ウ云フコ
トヲ述ベラレタノデアアリマス、大體此修正
案ノ説明ハ之ヲ以テ御了承下サレタコトト
信ジマス、委細ノコトハ速記録ニ載セテア
リマスルカラ、速記録ニ付テ御覽ノ願ヒマス
レバ、誠ニ仕合セト存ジマス、之ヲ以テ
此委員長ノ報告ハ終リマスルガ、終リニ臨ミ
マシテ、委員會ニ於テ斯ウ云フ注意ヲ政府
ニ述ベラレタ委員ガアタクノデアアリマス、
ソレハ此著作權ノ人格權ヲ新ノ如キ法規ニ
依テ尊重スルコトハ誠ニ結構ナコトデア
ルガ、ドウモ近頃ノ出版物ナリ或ハ繪畫等
ヲ見ルト、誠ニ取締ガ稍、緩クナリ、ヤウニ
考ヘラレルモノガ往々アル、風俗上カラ見
テモ誠ニ不穩當ノモノガ公ニナリ、テ居ルモ
ノガアルカノ如ク思フノデアアル、殊ニ又新
聞紙上ノ廣告ノ例ナドヲ引イテ見マスルト
格別必要モナイノニ裸體ノ婦人ノ像ナドヲ
新聞ノ廣告ニ掲ゲテ、誠ニ心アル人ヲシテ
憂鬱セシムルヤウナ新聞ノ廣告等ガアル、
是等ハ風俗上カラ見テ誠ニ不穩當ト思フカ
ラ、政府ハ相當ヲ取締ナリ策ヲ講ジタラ宜
カラウト云フ注意ガアタクノデアアリマス、而
シテ其注意ニ對シテ政府當局者ノ答辯セラ
ルル所ニ依ルト、何分現時ノ世相ハ十年前
カラ見ルト段々變テ居ルノデアアル、十年前
ニハ禁止シタモノモ、只今ニナルト之ヲ禁
止スルコトガ出来ナイヤウナモノガ往々ア
ルノデアアル、十年前ニ取締タ時ノ基準ヲ
以テ、今日ノ文藝品ナリ美術品ナリヲ律ス
ルコトハ出来ナイ、併シ委員ノ御注意ニナ
ルコトハ誠ニ御尤モデアアルカラ、精々其御
注意ノ趣旨ニ副フヤウニ致ス考デアルト云

ナコトハ、文部大臣モ亦内務當局ニ於テモ
之ヲ述ベラレタノデアアリマス、併シテ此
段モ御報告申上ゲテ置キマス、何卒此修正
案ニ御同意ヲ下サリマシテ、修正ニ觸レザ
ル點ニ於テハ政府原案ヲ御可決下サルヤウ
ニ希望イタス次第デアリマス、之ヲ以テ御
報告ヲ終リマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ヲ第二讀會
ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵池田政時君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ勸
議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題
ニ供シマス、全部委員長ノ報告通りテ御異
存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵池田政時君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ勸
議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議
通りテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四、大正
十三年法律第二號申改正法律案、政府提出
第一讀會ノ續、委員長報告、黒木伯爵

大正十三年法律第二號申改正法律案
右別冊ノ通修正議決セリ核テ及報告候也
昭和六年二月二十日

委員長 伯爵黒木 三次

貴族院議長公爵徳川家達君

(小字ハ特別委員修正)

大正十三年法律第二號申改正ス

本法ニ左ノ題名ヲ附ス

海軍軍備制限條約實施法

第一條 第一號中「建造」ノ下ニ又ハ

改裝ヲ同條

號海軍軍備制限ニ關スル條約」ノ下ニ「及

昭和六年條約第一號千九百三十年「ロン

ドン」海軍條約」ヲ加フ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔伯爵黒木三次君演壇ニ登ル〕

○伯爵黒木三次君 是ヨリ大正十三年法律

第二號申改正法律案特別委員會ノ經過並ニ

結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ヲ開キマ

シタコトガ二回、慎重審議イタシマシテ修

正可決イタシマシタ次第デアリマス、今説

明ノ順序ト致シマシテ、至極簡單ナ法律テ

ゴザイマスルカラ、法律ノ大要ヲ申上ゲタ

イト思ヒマス、此法律ハ既ニ御存知ノ如ク、

去ル大正十二年ニ華盛頓ニ開カレマシタル
海軍軍備制限ノ條約ニ基イテ作ラレマシタ
國內法デゴザイマス、第一條ニ於キマシテ
軍艦ヲ建造スルコト、商船ヲ軍艦ニ變更ス
ル目的ヲ以テ武裝スルコト及其準備ヲスル
コト、此二ツノコトハ主務大臣ノ許可ヲ要
スル、斯ウ云フコトガ規定シテゴザイマシ
テ、要スルニ主務大臣ノ許可權デゴザイマ
ス、第二項ニ於キマシテ、是ハ華盛頓條約
ニ於テ制限サレタコトニ付テハ、大臣ハ許
可シナイモノダト云フ許可權ノ制限ガ規定
シテゴザイマス、第二條ハソレノ取漸規定
ト云フヤウナモノデ、工場ニ這入リ、又
ハ設計ノ計畫ヲ提出サシタリシテ、検査ス
ルコトノ出来ルト云フ規定デゴザイマス、
第三條ハ第一條ニ違反シタル者ニ對スル罰
則デゴザイマシテ、是ハ可ナリ重クナリ居
リマシテ、二年以下ノ懲役又ハ禁錮、斯ウ
云フ風ニナリテ居リマス、又罰金モ二千圓科
セラレルヤウナコトニナリテ居リマス、第四
條ハ第二條ノ取締規定ニ違反シタル者ニ關
シマスル罰則デゴザイマス、此非常ニ簡單
ナ四條カラ成テ居ル法律デゴザイマス、ソ
レデ今回ノ改正ノ要旨ハ、此大正十三年法
律第二號ト云フノ改正イタシマシテ、海
軍軍備制限條約實施法ト云フ風ナ名ヲ付セ
ルコトデゴザイマス、ソレカラ第二、此
第二項ニゴザイマスル「主務大臣ハ大正十
二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約」
ト云フ其後ニ「及昭和六年條約第一號千九
百三十年「ロンドン」海軍條約」ト云フ字ヲ
加ヘマシテ、制限ノ範圍ヲモット擴メタ次
第デゴザイマス、ソレデ質疑應答ノ大要ヲ
申上ゲマス、此海軍軍備制限條約實施法
ト云フ、此實施ト云フ字ガ面白クナイヂヤ

ナカ、何カ外ニウマイ字デモアルカト云フ御質問デゴザイマシタガ、是モ當局ニ於テ色トト詮議ヲシタケレドモ、ドウモ面白イ字モ見付カラナイカラト云フコトデゴザイマシテ、委員モ之ヲ諒ト致シマシタ、第二番目ニハ「ロンドン」條約云々ト云フ字ヲ入レルトキニ、是ハモウ既ニ千九百三十五年ニハ又第二回第三回ノ海軍ノ軍備制限ニ關スル會議ガゴザイマシタカラ、是ノ條約ガ出來タ際ニ又之ヲ改正シナケレバナラヌ、サウ何遍モスルコトヲ止メテ、廣ク海軍軍備制限ニ關スル條約ト規定シテ、所ガ當局カト云フ御質問デゴザイマシタ、所ガ當局ハ其線返サナケレバナラナイ手數ノコトハ者ヘルケレドモ、斯ウ云フ風ナ重イ制則ノ附イテ居リマスル規定ガ、ドウ云フコトニ根據シテ居ルカト云フコトヲ明カニ示ス必要ガアルカラ、ドウモ是ハ一々其條約ノ名前マデ入レテ置タガ、自分ノ方トシテハ至當ト思フト云フコトデゴザイマシテ、又是モ委員會デハ諒トシタ次第デゴザイマス、ソレカラ又此法律ニ相當スル法律ハ、各締約國ニ於テモソレト制定セラレテ居ルカ、斯ウ云フ御質問ガゴザイマシタ、當局ノ御答ハ華盛頓條約ノ後デ一番初メニ國內規定ヲ作ッタノハ英國デゴザイマス、又今度ノ倫敦條約ノアトニ改正ヲ致シマシタノモ、去年ノ七月ニ改正ヲシテ居ル、斯ウ云フ譯デゴザイマス、伊太利、佛蘭西、共ニ國內法ハ既ニ出テ居リマス、唯米國ハ米國ノ憲法及ビ法律ニ依リマシテ、米國政府ハ米國ガ加入シテ居ル條約違反ヲ阻止スルコトガ出來ル、其方法ハ政府ガ法廷ニ訴ヘテ、條約上ノ違反行爲ヲ差止命ラ出シテ、之ニ肯カナイモノハ、法廷侮辱罪トシテ禁錮又ハ罰金ヲ

命ズルコトガ出來ルト云フヤウナコトデアルト云フ御答デゴザイマシタ、一番最後ニ問題トナリマシタノハ、此第一條ノ第一項ノ第一ニ軍艦ヲ建造スルコトト云フ、此建造ト云フノハドウ云フモノカ、華盛頓條約ノ時ニハ御存知ノ如ク、是ハ主力艦デゴザイマシタカラ、改造其他ノコトハ非常ニ技術上ムツクシイコトデゴザイマス、併シ今度ノ倫敦ノ會議ハ小艦艇ニマデ及ンデ居リマスカラ、何カ改造ト云フヤウナ字ハ……此建造又ハ改造ト云フヤウナコトハ必要デハアルマイカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマシテ、之ニハ既ニ御手許ニ差上ゲテアリマス速記録ニアリマスヤウニ屢論セラレマシテ、初メ當局ノ御説明ハ建造ノ文字ノ中ニ、廣ク解シマシテ改造モ入レテ居ルノダ、サウシテ是ハ大正十三年ノ第四十九回ノ議會ニ同案ガ提出サレタノデゴザイマスガ、其時ノ委員會ニ於テモ委員ノ諒承ヲ得テ居ル、斯ウ云フ御質問デゴザイマシタ、併ナガラ委員會モ議ガ多ク分レマシタモノデアリマスカラ、第一回ノ終リニハ懇議會ヲ開イテ意見ノ一致ヲ圖リタ次第デゴザイマス、又第二回ノ委員會ノ初メニ當リマシテ、政府當局カラ前同ノ説明ニ多少ノ正誤ヲ要スル所、又附加シナケレバナラナイ所ガアルカラト云フ意味合デ、御説明ガアリマシタ、之ニ依テ委員モ諒承シマシテ、能ク政府ノ心持ノアル所モ伺ヒタ次第デアリマス、サウシテ尙ホ委員カラモ英國ノ規定ハ非常ニ詳細ナコトヲ云フテ居リマスカラ、斯ウ云フヤウナ字ヲ示シタガ條約ヲ誠實ニ履行スルト云フ精神カラ言ッテ適當デアアルマイカ、斯ウ云フ論ガゴザイマシテ、之ニハ政府モ結局何カ字ガ……改造ト云フ字デハ少

シ困ルケレドモ、改装ト云フ字ナラ、ソレノ方ガ宜カラウト云フ意見ガ一致シマシタ、ソレデ質問ヲ打切リマシテ、討論ニ入ッテ、田所君ヨリ第一條第一項第一號ノ軍艦ヲ建造ト云フ「又ハ改装」ト云フ此四字ヲ加ヘル修正動議ガ出マシテ、委員會ニ於テ之ヲ可決イタシマシタ、此修正ノ意味ヲ以テノ原案ニ議場一致可決イタシマシタ次第デアリマス、之ヲ以テ委員會ノ報告ヲ終リマス

- 議長(公爵德川家達君) 本案ヲ第二議會ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二議會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
- 子爵池田政時君 贊成
- 議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ本案ノ第二議會ヲ直ニ開クト云フ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵德川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三議會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
- 子爵池田政時君 贊成
- 議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵德川家達君) 第二議會ノ決議ヲ御異存ゴザイマセヌカ
- 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 議長(公爵德川家達君) 日程第一、國務大臣ノ演說ニ關スル件、內務大臣ガ發言ヲ求メラレマシタ、內務大臣安達謙藏君
- 〔國務大臣安達謙藏君演說ニ登ル〕
- 國務大臣(安達謙藏君) 先日前田子爵ガ本議場ニ於キマシテ、御質問ノ御演說ガアリマシタ場合ニ、私己ムテ得ザル用事ガアリマシテ缺席イタシテ居リマシテ、御質問ニ御答スルコトガ出來マセヌダ、誠ニ遺憾ニ堪ヘマセヌ次第デアリマス、就キマシテハ當時ノ御演說ヲ拜聴シテ居リマシタ政府委員ノ聽取リマシタ御演說ノ大要ニ付キマシテ、茲ニ一ト通り御答ヘ致サウト思ヒマス、先ツ第一ハ失業ノ狀況ニ關スル點デアリマスガ、其御質問ノ要旨ハ、失業者ハ政府ノ對策如何ニ拘ラズ益々増加シテ居ル、昨年ノ初メ三十五万人ナリシモノガ三十八万人ニ増加シタ、尙ホ社會局ノ調査ハ歸農者及ビ學校卒業ノ未就職者ヲ含マザルモノナルヲ以テ、是等ヲ加フル時ハ百万ヲ下ラヌデアラウ、是デ政府ノ經濟政策及ビ失業對策ノ無力ナルコトガ知ラルト云フ意味ノ御質問デアリマス、私ハ此御問ヒニ御答ヘ致シマスガ、社會局ノ推定失業者ノ數ハ昨年二月、三十五万人デアリマシテ、其後漸次ニ増加イタシマシテ、最高ノ時ハ九月

デアリマシテ三十九万五千人デアリマスガ、十月ニハ三十七万四千、十一月ハ三十五万人ニ減シマシタ、ソレカラ十月一日ニ施行セラレマシタ國勢調査ノ失業率者調ハ、略ボ社會局ノ推定ト失業ノ定義ヲ同ジクスルモノデアリマスガ、全國三十二万二千人ノ數ニ上ボテ居リマス、之ニ依テ見マスルト、失業者ノ漸増ノ傾向ガアリマシタコトハ認メラレマスガ、其増加ノ勢ヒガ世間デ傳ヘラルルガ如キ著シキモノデナイコトハ明カデアリマス、社會局ノ調査及ビ國勢調査ニ於キマシテ、學校卒業ノ未就職者、自營者等ヲ含マセマスノハ、失業調査ノ性質上自然ノコトデアリマシテ、何等ノ意圖アルノデモアリマセヌ、尤モ是等ノ現象モ亦社會問題トシテ重要ナルコトハ勿論デアリマスルカラ、政府ハ失業統計ト併セテ、學校卒業者就職調、小學校卒業生職業紹介調、工場鑛山ノ雇入及解雇者歸趨調等ヲ行ヒマシテ、職業問題ニ關スル正確ナル資料ヲ蒐集シ、之ガ對策ヲ講ズルニ遺憾ナキヲ期シテ居リマス、其次ノ御問ヒノ要旨ハ、各方面ノ報告ヲ綜合スルニ、不景氣ノ結果、空屋空間ノ増加、家賃ノ滯納、商工業者ノ衰頹、支那、南洋貿易ノ不振、婦人小兒ノ求職者ノ激増及ビ就職難、窃盜ノ増加、棄兒、一家心中、親子心中等ノ増加等、總テ不景氣、生活難ノ益甚シキヲ示スモノナルニモ拘ラズ、政府ハ之ガ對策トシテ何等有效ナル施設ヲ施サズ、救護法ノ實施ニモ未ダ著手セズ、失業保險ヲモ實行セザルハ如何デアアルカト云フ意味ノ御問ヒデアリマス、私ハ此御問ヒニ對シマシテハ、不景氣ニ原因スル生活難ノ有ラユル世相ハ、或程度ニ之ヲ認メマスルガ、現下ノ不景氣ニ基ク社

會問題ヲバ決シテ輕視スルモノデアリマセヌ、救護法ノ施行ハ近日追加豫算ヲ以テ提案スル豫定デアリマス、施行ノ時期ヲ明年一月ヨリトシマスノハ、財源ノ關係、及ビ施行準備ノ爲メデアリマシテ已ムヲ得ザル所デアリマス、失業保險ノコトハ之ヲ海外諸國ノ實例ニ鑑ミマシテモ、其範圍ヲ如何ニスルカ、又事業主ト労働者トノ負擔保險ニスルカ、又事業主ト労働者トノ負擔如何ニスルカ、又國家ノ負擔ヲ如何ニスルカ、其財源ヲ如何ニスルカト云フコトハ、最モ慎重ナル考慮ヲ要スルモノデアリマス、仍テ今俄ニ之ヲ實施スルハ、國家將來ノ爲メ如何カト考ヘマス、本問題ニ付キマシテハ失業防止委員會等ニ於キマシテモ、慎重ニ考究イタシテ居リマス、御承知ノ通り英國等デハ此失業保險ノ爲メ國家ハ巨額ノ負擔ヲナシ、國民ハ重稅ニ苦ミ、労働者ハ失業ノ職業トスル者ガ續出スルニ至リマシテ、政治家ハ其善後處置ニ困リ拔イテ居リマス、若シ我國デモ失業保險政策ヲ誤マリマシタラ、國民ノ負擔ヲ重カラシムルノミナラズ、失業ノ職業トスル者續出シマシテ、昨年本院デ御建議ニナリマシタ建議案ノ遊民、惰民ヲ造ルノ虞アリト思ヒマス、仍テ失業保險ノコトハ十分ノ考究、研究ヲ要スルコトト考ヘテ居リマス、而シテ其他ノ失業對策ニ付キマシテハ、一、失業救濟事業ノ施行、一、事業ノ調査、一、職業紹介機關ノ増設及其活動ヲ促進スルコト、一、失業救濟施設、一、職業指導及職業輔導、一、國產獎勵其他ノ産業政策、一、労働時間ノ短縮等、有ラユル方策ヲ綜合的ニ實施イタシマシテ、極力失業ノ防止緩和ニ努メツツアリマシテ、決シテ之ヲ等閑ニ放置シ

テ置クモノデアリマセヌ、其次ノ御問ハ、政府ハ公益質屋ニ於ケル生業資金融通ノ制限額ヲ緩和シテ、小商工業者ノ金融ヲ圖ルトノ聲明デアアルモ、實際ニ依テ何等ノ效果ガアリタルカ、大藏省ノ調査ニ依ルモ、貸出額ハ全然不明デハナイカト云フ御問デアリマス、此御尋ネニ對シマシテハ、私ハ先ヅ公益質屋ノ概況ヨリ御話イタサウト思ヒマス、公益質屋ノ數ハ逐年増設セラレツツアリマスガ、昭和四年三月ニハ百十九箇所デアリマシタモノガ、昭和五年ノ十二月ニハ殆ド倍ニ殖エマシテ、二百三十五箇所トナテ居リマス、又貸付ノ金額ハ年々著シク増加ノ趨勢ニアリマシテ、昭和三年度ハ百五十五万圓デアリマシタモノガ、昭和四年度ガ二百六十二万圓、昭和五年度ノ十二月マデニ二百九十四万圓トナテ居リマス、尙ホ昨年ノ四月、生業資金ノ貸付ニ付キマシテ、一口ノ貸付金額制限ヲ緩和イタシマシタガ、右二百三十五箇所ノ公益質屋ノ中、昨年ノ十二月末マデニ生業資金ノ貸付ヲ爲セルモノガ八十六箇所、此貸付金額ガ二十七万圓デアリマシテ、是亦益、増加ノ傾向ニアリマス、其次ノ御問ハ、政府ハ失業救濟事業トシテ、昭和六年度ニ於テ地方公共團體ノ土木事業、國道、府縣道ノ改修事業、鐵道省關係事業等ニ於テ總額七千万圓餘ノ事業ヲ施行スト云フモ、是等ノ事業ハ概ネ都市ニ行ハル、モノニシテ、其他ノ地方ニ行渡テ居ラヌ、又事業ハ筋肉労働者ヲ對象トシテ、知識階級ノ失業救濟ノ事業ハ僅ニ六十万圓餘ニ過ギズ、ソレカラ國道改修ハ本來府縣知事ニ於テ爲スヲ原則トスベキ故ニ、主務大臣ニ於テ行ハムトスルハ、黨略ノ爲ニ之ヲ利用スルヤノ噂ヲ生ズルコト等ニ依

リ首肯シ難シ云々トノ御尋ネデアリマス、此御問ニ對シマシテハ、此第一ニ從前ノ失業救濟事業ハ主要都市ニ行ハレタモノガ多クアリマシタケレドモガ、現在ハ必シモ事業ノ施行ヲ都市ニ限リマセズ、尙ホ都市ニ於テ事業ヲ行フ場合ニモ登録制度其他ノ方法ニ依リマシテ、出來得ル限り労働者都市集中ノ弊ヲ避クルニ努メツツアリマス、國道改良工事ハ北海道及三十二府縣ニ亘リ、府縣道改良工事ハ全國各府縣悉ク之ヲ行フモノデアリマシテ、共ニ都市偏重ト云フガ如キ虞ハアリマセヌ、又知識階級ノ失業ハ最モ憂フベキ問題デアリマスガ、知識階級ニ對スル授職事業ヲ大規模ニ實行スルヤウナコトハ到底不可能デアリマス、但シ各種ノ失業救濟事業ノ實施ニ依リマシテ、知識階級ノ人ミノ使用セラルルモノ相當多キヲ以テ、是亦緩和ニ相當ノ效果ナシト云フコトハ出來マセヌ、次ニ國道改良事業ハ、當時ニ於キマシテハ府縣知事ヲシテ之ヲ行ハシムルコト御説ノ通りデアリマス、併ナガラ今回ハ失業救濟事業ハ、單ニ之ヲ地方團體ヲシテ行ハシムルニ止マラズ、國家ガ自ラ之ニ當ルノ趣旨ヲ持チマシテ、政府ニ於テ失業對策トシテ最モ有效適切ナルヤウ之ヲ實行セントスルモノデアリマシテ、國ガ地方ト協力シテ實行スルコトガ最モ救濟ノ效果ヲ擧グル所以デアルト信ジマス、其次ノ御問ハ政府ハ職業紹介所補助費ヲ五万圓増加計上セルモ、紹介所ハ元來桂鹿同様にモノニシテ、職業ヲ創設シ得ベキモノデナイ、ソレデ其效果ヤ知ルベキノミト云フ御尋デアリマス、私ノ考デハ職業紹介所ハ決シテ御尋ノ如ク輕視スベキモノデアリマセヌ、紹介、就職、共濟其他有ラユル失

業對策ノ基本トナルモノデアリマシテ、政府ノ失業對策トシテ最モ力ヲ注グモノノ一ツデアリマス、現内閣組閣以來職業紹介所ノ創設セラレタルモノ六十餘箇所デアリマシテ、現在ハ三百七箇所ニ及ンデ居リマス、昭和五年一月ヨリ十一月ニ至リマス間ノ紹介ノ件數ハ一般紹介ニ於テ五十六万四千件、一箇所一日平均六人四分、日傭勞働ニ於キマシテ紹介件數ガ四百四十九万件、一箇所一日平均二百七十二人デアリマス、之ヲ營利紹介ノ取扱一箇所一日平均僅ニ一人ナルニ比較イタシマスレバ、其效果ノ見ルベキモノアリト言ハネバナリマセヌ、況ヤ失業救濟事業ノ實施、求人開拓、職工ノ移動紹介、少年職業指導等ハ紹介所ニ依ルニアラザレバ、到底其效果ヲ期待シ得ベカラズト思フノデアリマス、米國ニ於キマシテモ目下職業紹介所ノ大擴張ヲ圖リ、以テ失業防止救濟ノ機能ヲ發揮セントノ議ガアル位デアリマシテ、職業紹介機關ハ大ニ政府ノ認ムル所デアリマス、以上ハ御質問ニ對スル答辯デアリマスルガ、私ハ失業問題ヲ御答ヘスルニ當リマシテ、閑却シテハナラヌコトガアリマスカラ、茲ニ一言申添ヘテ置クコトヲ御許シテ願ヒタイト思ヒマス、ソレハ朝鮮人勞働者ノコトデアリマス、朝鮮ノ勞働者ハ先年來毎年數万人ツ、渡航シテ參リマシテ、其總數二十八万九千ニ上リマシテ、大阪、名古屋ヲ始メ各大都市ノ失業者ノ三四割以上ヲ占メテ居リマスガ、昨年來彼ノ地ニ治水、道路、鐵道等ノ事業ヲ起シマシテ、又六年度以降三箇年間更ニ六

千五百万圓ノ借入金ヲナシテ土木其他ノ事業ヲ起スコトニナリマシタカラ、全部トハ中シマセヌケレドモ、若干ハ其影響ト思ハレマスガ、昨年ノ七月以來毎月朝鮮ヨリ渡航シ來ル者ガ減ジマシテ、コチカラ歸ル者ガ非常ニ増加イタシマシタ、其差毎月四五千人ツ、歸ル者ガ多クナテ居リマス、此趨勢ガ幸ニ當分續キマシタナラバ、鮮人ノ勞働者ノ減少ノ爲メ失業問題ハ非常ニ緩和セラレルコトデアリマスカラ、私ハ御參考マデニ茲ニ申添ヘテ置ク次第デアリマス、之ヲ要シマスルニ政府ハ失業ノ防止救濟ニ相當ノ努力ヲナシマス同時ニ、國民ガ堅忍持久ノ決心ヲナシテ、今日ノ難局ニ處シマシテ遊民惰民トナラザルヤウニ、注意イタシテ居ル次第ゴザイマス、此段御答ヘ致シマス

○子爵前田利定君 只今内務大臣ノ過日私ノ質疑ニ對シマシテノ御答辯ガゴザイマシタガ、簡單デゴザイマスカラ、自席カラ質問スルコトノ御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○子爵前田利定君 内務大臣ノ御答辯ニ付キマシテ先ツ私ノ感シマシタコトハ議員ノ質疑ニ對シマシテ往々國務大臣ノ御答辯ガ的ヲ外レテ居タリ或ハ問フ所ノモノト違フコトヲ答ヘラレタリ、或ハ五ツ問ウテアルモノニ對シテ二ツ答ヘルト云フヤウナ、誠ニ御粗漏ノ御答辯ガ多イデアリマ

スガ、只今内務大臣ノ御答辯ハ、私ノ議場ニ於ケル質疑ヲ他ノ政務官カラ御聽取ニナラタ上デ、尙ホ私ノ速記録モ御讀ミ下サタコトデアラウト思ヒマス、誠ニ能ク私、質疑ニ對シマシテ各點ニ付キマシテ御深切ナ御答辯ヲ得マシタコトハ、其點ハ誠ニ感謝イタシマス、又御述ベニナリマシタ點ニ於キマシテ、私ノ了承イタシマシタ點モゴザイマス、併ナガラ多少尙ホ承服イタシマセヌ點モゴザイマスルノデ、一應ソレヲ申上ゲタイト思ヒマス、失業ノ狀況ニ付キマシテ第一ニ御答辯ニナテ居リマスガ、内務大臣ノ御答辯ノ基礎ハ社會局ノ調査竝ニ國勢調査ヲ基トシテ御答ヘニナテ居ルノデアリマス、是ハ過日モ申上ゲマシタ通りニ社會局ノ調査ト云フモノハ甚ダ杜撰デアリマス、又國勢調査ノ調査上ニ付キマシテモ、其當時ニ於キマシテモ色々批評ガゴザイマシタケレドモ、是モ端的ニ申上ゲマスレバ、甚ダ杜撰ナモノデアリマス、斯様ナ杜撰ナモノヲ基礎トシテ、失業者ノ數方左程増加シテ居ラスト云フヤウナコトヲ、答ヘテ居ラレルノデアリマスガ、私ハ此點ニ於キマシテ意見ヲ異ニシテ居リマス、到底社會局ノ調査ヤ國勢調査ガ、社會政策ノ基本トナルベキモノノ調査資料ト致シマシテハ、甚ダ不十分ナモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、尙ホ申上ゲル迄モナク、人體ニ於ケル體温ノ如キモノ、脈搏ノ如キモノト同様ニ、失業者ノ數ト云フモノハ、一高一低イタスデアラウト思ヒマス、

或ル時ハ高マリ、或ル時ハ低マル、三十五万人ノモノガ三十八万人ニナリ、或ル場合ニハ三十二万人ニモナルコトガアリマセウガ、其波ヲ打テ行ク間ニ、其趨向ガ段々高マテ行クカ、低マテ行クカト云フコトヲ先ヅ見通サナケレバナラヌト思フノデアリマス、成程昨年ノ十月アタリニハ三十七万四千デアタノガ、或ハ昨年ノ末頃ニハ多少低マテ數字ガ現ハレテ居ルカモ知レマセヌ、固ヨリ此社會局ノ調査ダケニ付テ申上ゲテ居リマスガ、併ナガラ唯ソレヲ以テ左マデ失業者ガ殖エテ居ラスト云フヤウナ御觀察デアルト、大變私ハ正鵠ヲ逸スルデアラウト思ヒマス、希クハ社會局ノ調査ノ外ニ實際ノ世相ヲ御覽ニナリマシテ、既ニ内務大臣モ御氣付ニナテ居リマス、學校ヲ卒業シテ職業ニ有リツケヌ者、又鑛山ヤ工場カラ解雇サレマシタ者等身ノ振方ニ困テ居ル者、又例ヘバ大工トカ左官トカ申シマスヤウナ生業ヲ有テ居リマス者デアリマシテモ、仕事ガナケレバ矢張り失業者ト同様デアルト私ハ思フノデアリマス、左様ナ數ヲ綜合イタシテ合算イタシマスルト、社會局ノ調査ノ數ヲ基礎トシテ御考ヘニナテ居ルト云フコトハ、大變御思ヒ違ヒデアルト私ハ思フ、第二ハ、不景氣ノ世相ニ付テモ、或ル程度マデハ御認メ下サルト云フコトデアリマス、或ル程度ノ御認メヲ戴クト云フコトハ、私ト致シマシテ甚ダ遺憾デアリマス、十分ニドウカ此險惡不安ナル社會ノ實相ヲ明察、思察サレニコ

ト望ミマス、尙ホ救護法ノ實施ニ付テハ先般ノ私ノ質疑ノ際ニモ申上ゲマシタ通リ、遲延デアレケレドモ救護法ヲ實施ナサルト云フコトハ結構ナコトデアルト私ハ申上ゲテアリマス、唯其實施ガ明年一月カ二月ニ御始メニナルト云フコトハ、今日生キルカ死ヌカ其岐路ニ立ッテ居リマスル者ニ取リマシテハ、誠ニ優長千萬デアルト私ハ思フ、元來昭和六年度ノ豫算ニ御組ミニナリ、昭和六年度ノ施政方針ヲ御決メニナル時ニ救護法實施ニ關スル豫算等ハ、當然其時ニ御組込ミニナッテ然ルベキモノデアルト、私ハ思フ、今更ニナッテ追加豫算デ以テ後レ馳セニ御出シニナルト云フヤウナコトハ、甚ダ私ハ失禮ナ申分デアリマスケレドモ、不覺ナ致シ方デアッタと思フ、單リ救護法バカリデハゴザイマセヌ、豫テ此内閣ガ天下ニ聲明サレタ所ノ重要法案ハ餘リ今年ハ出テ参リマセヌノデ、是等ノコトヲ申上ゲマスルト話ガ又他ヘ参リマスカラ申シマセヌガ、兎ニ角救護法ノ如キモノハ、政府ガ疾ニ之ヲ御提出ニナル政治上ノ義務ガアツタ問題デアリマス、當然昭和六年度ノ本豫算ニ御織込ミニナルベキモノト私ハ思フ、御提案ノ時期ガ後レタト云フコトハ甚ダ遺憾デアル、而シテ其御實施ノ著手ガ來年一月カ二月ト云フノハ誠ニ優長千萬デアルト思フ、不景氣ノ世相ヲ或ル程度マデ御認メニナッテ……十分不景氣ノ世相ヲ御認メニナッテナラバ、斯様ナ手ヌルイ不覺ナコトハナカッタラウト、私ハ甚ダ遺憾ヲ感ズル

次第デアリマス、失業保險ノコトニ付テ御説明ガゴザイマシタ、固ヨリ是ハ慎重ニナサルベキモノデアリマス、是モ後レテ居ルト思フ、テ居リマスガ、併シ慎重ニ御詮議中デアルト云フコトデアリマスレバ、ドウカ實施後ニ悔ノ殘リマセヌヤウニ御考究ニナリマシテ、是亦一日モ早ク御實行アラムコトヲ望ム次第デアリマス、次ニ公設質屋ニ付テ御話ガゴザイマシタ、成程貸付額ガ殖エテ参ッタコトハ慶スベキコトト私承知イタシマスルガ、私ガ過般公設質屋ニ付テハ兎角ノ批評ガ出來ナイト云フコトヲ申上ゲマシタノハ、大藏省カラ私ノ戴キマシタ調査書類ニ依リマスルト、或ル年度ノモノハ貸付金額ガアリマスケレドモ利用シタ數ガ不明ト云フコトニ書イテ居ル、或ハ貸付金額ガ亦不明デアルト云フヤウニ、不明々々ト活字デ押シテアリマシテ、果シテ此貸付金額ガドレダケノ人ニ利用サレタノデアルカ、少シモ此資料ノ上カラ理解ガ出來ナイ、大藏大臣ハ嘗テ公設質屋ノ一口ノ金額ヲ擴張シタ爲ニ非常ニ緩和シタト云フコトヲ申サレテ居リマスルケレドモ、緩和シタカシナイカ、大藏省カラ御出シニナッテ居ル調査資料ニ付キマシテハ、税ノ愚カナ爲メデアルカ分リマセヌガ、不明々々ト云フ活字バカリ押シテアリマスカラシテ、分リマセヌノデス、サウ云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス、尙ホ申添ヘマスガ、公設質屋ノ御實行ト云フコトハ、其事柄自體ニ付キマシテハ無論不賛成デアリマセヌ、結構ナコ

トデアリマス、ドウカ此公設質屋ノ一口ノ擴張、金額ガ擴張サレマシテ、多クノ庶民階級ガ之ヲ利用、善用スルヤウナ運ビニ至ランコトヲ希望シテ居リマス、ガ、如何ニ公設質屋ト申シマシテモ、質草ヲ持ッテ行カナケレバ借りラレナイノデアリマス、質草ノアルモノハ宜シウゴザイマスガ、今日ハ庶民階級ニ於キマシテハ、元ハ質草ニナルベキモノモ持ッテ居リマセウケレドモ、不景氣ガ深刻ニナリ、今年申モ斯ウ云フ不景氣ガ尙ホ續クト云フコトデアリマシタナラバ、持合セノ所謂質草迄モ無クナシテシマッテ、如何ニ公設質屋ガ店ヲ開イテ一口ノ限度ヲ擴張サレマシテモ、借りニ行カウト思フテモ借りニ行カレヌヤウナ狀況ニ至リハセヌカト思フノデアリマス、ドウカ世ノ中ノ此不景氣ヲ回復スルヤウニ、十分御留意願ヒタイト思ヒマス、第四ハ失業救済ノ爲ニ土木工事、此點ニ付キマシテ御説明ガアリマシタ、ガ、此點ハ私ガ申上ゲマシタコトモ、内務大臣ニハ能ク御分リニナッテ居ルト思ヒマス、即チ七千万圓ト云フ鐵道ノ工事、道路ノ工事ノ總額ニ對シマシテ、六十三万圓バカリガ知識階級ニ廻サレルト云フコトハ、如何ニモ偏重ノ嫌ガアリハセヌカ、何トカ此知識階級者ヲシテ職ヲ得セシメ、知識階級者ヲシテ思想上悪化ヲ來シマセヌヤウニ、無論筋肉労働者ノ救済モ必要デアリマスルケレドモ、知識階級者ノ救済ト云フコトニ付キマシテハ、今一層ノ御高配ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、次ニ道路法ニ

付テノ御説明ガアリマシタ、是モ過日私ガ申上ゲマシタ通りニ但書ガゴザイマスルカ、其但書ニ依ッテ主務大臣ガ管理ヲ爲サツテモ違法デアアルマイ、ガ併シ元來其各府縣ノ知事ヲシテ管理ノ采配ヲ振ラセルト云フコトニ法律ノ成文ハナッテ居ルノデアリマスルカ、其成文ニ依ラズシテ、除外例ニ依ラレタ有力ナル根據ヲ伺ヒタイ、而シテ其コトガ國家社會ニ如何ニ有效デアリ適切デアアルカト云フコトヲ、御示シテ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスルガ、内務大臣ノ御答辯ハ、ソレガ有效適切デアルト云フコトデアリマシテ、鸚鵡返シ見タイナ御答辯デアッタノデアリマス、其有效適切デアルト云フコトハドウ云フコトデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイト言ッタノデアリマス、併ナガラ内務大臣ハ、決シテ斯様ナコトヲ以テ黨略ニ利用スルノデハナイト云フ御意思ノヤウニ伺ヒマシタカラ、其點ハ了承イタシマシテ、職業紹介所ノ増設ニ付キマシテノ御説明ガゴザイマシタ、私モ固ヨリ此職業紹介所ト云フモノハ輕視シテ居リマセヌ、過般ノ質疑ノ演説ヲ申上ゲマシタ時ニモ、決シテ職業紹介所ヲ輕視シタヤウナコトハ少シモ申シテ居ラヌノデアリマス、但シ職業紹介所ト云フモノ、性質ガ職業ヲ拵ヘル所デナイノデアリマスルカラ、唯職業紹介所ヲ澤山拵ヘタト云フコトノミヲ以テ、失業者ノ救済ハ出來テ居ルンデハナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、尙ソレニ付キマシテ職業紹介所ノ色ニ御話ガアリマシタガ

唯職業紹介所ノ見世ガ……事務所ガ澤山出
來タト云フコトガ、即チ失業者ノ救済ト云
フモノニハ直ニナラヌノデアリマスルカラ、
ドウカ職業紹介所ヲシテ其機能ヲ發揮出來
マスマウニ、御政治振ヲバ直シテ戴キタイ
ト思フノデアリマス、結論トシテ内務大臣
ハ、此社會世相ニ對シテ十分ニ努力スルト
云フ御話デアリマシタ、政府當局者ト致シ
マシテ努力スルノハ當然ナ話デアリマス、
唯私ノ希望スル所ハ、唯努力スルト云フコ
トダケデハ物足ラヌノデアリマシテ、努力
セラレタ結果ガ實績ガ舉ガルト云フコトデ
ナケレバ、我々ハ満足ガ出來兼ネルノデア
リマス、御努力下サル御精神ハ誠ニ之ヲ諒
ト致シマス、唯憾ムラクハ御努力ノ結果ガ
具體的ニ現ハレテ居ナイト云フコトヲバ遺
憾トスル者デアリマス、ドウカ御精神通り
ニ實績モ共ニ備ハルヤウニ一段ノ御努力ヲ
願ヒタイト思ヒマス、私ト致シマシテハ之
ヲ以テ申上ゲルコトハゴザイマセヌ

(金杉英五郎君演壇ニ登ル)

○金杉英五郎君 内務大臣ニ伺ヒタイコト
ノ第一ハ産兒調節ニ關スルコトデアリマ
ス、之ヲ伺ヒマスル前ニ一言申上ゲテ置キ
マスルコトハ、幣原總理代理ニ伺ヒマスル
時ニ熊澤蕃山ノ説ヲ引キマシテ決シテ反問
シナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタ
ガ、ドウモ熊澤蕃山ノ考ト首相代理ノ御考
ト一致シナイ所ガアリマシタ、反問セザル
爲ニ趣旨ノ徹底セザルコトアルヲ發見イタ
シマシタ、今日ハ若シ私ノ伺ヒタコトニ一致

セザル點ガアリマシタナレバ反問イタスト
云フコトヲ申上ゲテ置キマス、例ヘバ過日
ノ質問ニ對シテ第一、濱口首相ガ前議會ニ
於テ悲觀無用ト云フコトノ御話ガアッタガ、
其後漸次悲觀狀態ガ激シクナッタデハナイ
カト云フコトノ間ニ對シマシテ誠ニ御同感
デアリマスル、世相ハ全ク憂慮スベキ状態
ニアリマスル、併ナガラ悲觀スルニハ及バ
ナイ、斯ウ云フ御話デアリマス、世相ガ憂
慮スル状態ニアリ、ソレガ推移シテ前途ヲ
悲觀シナイト云フノハ、誠ニ理窟ニ合ハヌ
コトノヤウニ、私ハ考ヘマスル、第二ニ施
政方針中ニ教育並ニ衛生ノコトヲ加ヘザリ
シハドウ云フ譯カト云フコトニ對シマシ
テ、ソレハ事理明白ノ事柄デアアルカラ加
ナカッタト、斯ウ云フコトデアリマス、事理
明白ノコトデアアルナレバ、施政方針全部マ
ルデ何ニモ言ハヌデモ宜カラウト、斯ウ云
フ議論ニナルノデアリマス、ソレカラ第三
ノ、議會中心政治ナルモノニ付テノ御問ニ
對シマシテ、無論日本ノ國體トシテ政體ト
シテ天皇中心政治デアアルコトハ申ス迄モナ
イコトデアアル、議會中心政治ト云フ名前ノ
當否ハ別トシテト云フヤウナコトヲ仰シヤ
イマシタ、サウスルト是モ亦議會中心政治
ト云フ名ニ對シテノ疑念ノアルト云フコト
モ發見サレタ譯デアリマス、サウ云フ工合
ニモウ一度御問ヲシナイト、ドウモ意思ノ
徹底セザルコトガソコニ生ジマシテ、新聞
ナドデモ、或ル新聞ニハ支離滅裂、意思徹
底セズナント云フ惡口ヲ書カレタ譯デアリ

マス、首相代理ヲ信用イタシ熊澤蕃山ノ説
ヲ守タル爲ノ過失デアリマシテ、此點ハ今
日改心イタシマシテ、安達内務大臣ノ御答
辯ノ状態ニ依リマシテハ、再ビ御問ヲ申上
ゲルト云フコトヲ前提ニ御質問申ス次第デ
アリマス、御存ジノ如ク人口問題ノ著シク
高唱セラル、ニ至リマシタコトハ百有餘年
前ノコトデアリマシテ、一時ハ、人類死亡
率ノ増シテ出生率ノ減ズルコトハ、人口増
加ノ自然防止デアッテ、所謂自然淘汰デア
ルトマデ稱シタル一派ガ、歐米諸國ニアッテ
デアリマス、申ス迄モナタ今ヨリ百三十餘年
前ニ英吉利人ノ「トーマス・マルサス」ガ抑制
ナキ人口増殖ハ自然的ニ社會難生活難ノ苦
境ニ到達スベシ、即チ人口増殖スレバ食料
ノ不足ヲ生ジ、人口増殖スレバ一般ノ賃銀
ガ低下シテ細民菜色ヲ帶ブルニ至ルト唱道
イタシマシタ、而シテ「マルサス」ノ人口調
節ノ主義ハ、抑制主義ト稱シマシテ、第一
ニ結婚ヲ遅クスルコト、晩婚デアリマス、
第二ニ獨身生活デアリマス、第三ニ禁慾主
義デアリマス、即チ抑制主義、道義調節主
義トモ稱スベキモノデアリマス、是ガ一度
發表サレマシテカラ、歐米至ル所其説ニ共
鳴スル者ガ多クナリマシテ諸所ニ聯盟ノ會
ヲ起シテ大ニ普及ヲ圖ッタモノデアリマス、
其間ニ各種ノ書物ガ出版サレマシテ、中ニ
ハ極ク簡單ナ避妊法ハ接觸後ニ身體ノ激動、
噁ラスルコト、嘔ラスルコト、息ヲ突ク張ル
コトナドガ極ク良イ方法デアルト云フヤウ
ナ、極ク低級ナ議論マデ書出シタ人ガアリ

マス、ナカノ噁ラシタ位デハ避妊法ニハ
餘リ效力ハナイノデアリマス、同ジク英吉
利人デ「ジエーム・ス・ミル」ト云フ人ガ出
マシテ、新「マルサス」主義ヲ提唱シタノデ
アリマス、茲デ新「マルサス」聯盟ト云フモ
ノガ成立イタシマシテ、此新「マルサス」主
義ノ主張ハ食料以上ニ……人口ガ食料以上
ニ絶エズ増加スルノ傾向アルコトハ、困窮
者ヤ無智ナルモノヤ、犯罪者ナドヲ多ク起
ス原因トナルカラ、抑制スルコトガ必要デ
アル、其抑制ハ積極的トシテハ天死ヲスル
コト、饑饉デ死ヌコト、戰爭デ死ヌコト、
赤ン坊ヲ捨リ殺スコト、之ガ積極的抑制デ
アリマス、豫防的トシテハ、獨身生活ダノ、
ソレカラ禁慾主義ダノ、晩婚ダノト云フヤウ
ナコトハ、到底出來ルモノデハナイ、是ハ
ドウシテモソレ等ノ爲ニ多クノ性的犯罪ダ
ノ病氣ナリヲ起スカラ、却ッテ結婚ハ早クサ
セル、即チ早婚者ノ貞操、家庭ノ和樂、幸
福ト云フヤウナコトニ比較イタシマシテ、
晩婚ト云フモノハ決シテ幸福デナイカラ宜
シクナイ、モウ一ツハ衣食ヲ給シ教育ヲ爲
シ得ラルル程度以上ニ、多數ノ子女ヲ産ム
コトハ罪惡デアルト云フコトヲ宣傳シタノ
デアリマス、尙ホ附加ヘマシテ、官憲ハ人
口問題ヲ討議スル場合ニ限ッテ、之ヲ社會ノ
重要事ト認メテ、此論議ニ對シテハ刑事的
制裁ヲ加ヘナイヤウニシタイト云フコト
ガ、大體ノ綱領デアリマス、而シテ其主義
ヲ煎ジ語メテ見マスルト、第一ガ避妊法デ
アリ、第二ガ墮胎法デアリマシテ、ソレガ早

マス、首相代理ヲ信用イタシ熊澤蕃山ノ説
ヲ守タル爲ノ過失デアリマシテ、此點ハ今
日改心イタシマシテ、安達内務大臣ノ御答
辯ノ状態ニ依リマシテハ、再ビ御問ヲ申上
ゲルト云フコトヲ前提ニ御質問申ス次第デ
アリマス、御存ジノ如ク人口問題ノ著シク
高唱セラル、ニ至リマシタコトハ百有餘年
前ノコトデアリマシテ、一時ハ、人類死亡
率ノ増シテ出生率ノ減ズルコトハ、人口増
加ノ自然防止デアッテ、所謂自然淘汰デア
ルトマデ稱シタル一派ガ、歐米諸國ニアッテ
デアリマス、申ス迄モナタ今ヨリ百三十餘年
前ニ英吉利人ノ「トーマス・マルサス」ガ抑制
ナキ人口増殖ハ自然的ニ社會難生活難ノ苦
境ニ到達スベシ、即チ人口増殖スレバ食料
ノ不足ヲ生ジ、人口増殖スレバ一般ノ賃銀
ガ低下シテ細民菜色ヲ帶ブルニ至ルト唱道
イタシマシタ、而シテ「マルサス」ノ人口調
節ノ主義ハ、抑制主義ト稱シマシテ、第一
ニ結婚ヲ遅クスルコト、晩婚デアリマス、
第二ニ獨身生活デアリマス、第三ニ禁慾主
義デアリマス、即チ抑制主義、道義調節主
義トモ稱スベキモノデアリマス、是ガ一度
發表サレマシテカラ、歐米至ル所其説ニ共
鳴スル者ガ多クナリマシテ諸所ニ聯盟ノ會
ヲ起シテ大ニ普及ヲ圖ッタモノデアリマス、
其間ニ各種ノ書物ガ出版サレマシテ、中ニ
ハ極ク簡單ナ避妊法ハ接觸後ニ身體ノ激動、
噁ラスルコト、嘔ラスルコト、息ヲ突ク張ル
コトナドガ極ク良イ方法デアルト云フヤウ
ナ、極ク低級ナ議論マデ書出シタ人ガアリ

速歐米諸國ニ彌漫イタシマシテ、古イ「マルサス」主義ハ一掃サレテ、新「マルサス」主義トナツノデアリマス、最モ大ビラナノハ和蘭デアリマシテ、此避妊、墮胎ト云フモノハ一ツノ公共事業デアルトマデ言フテ居リマス、米國、佛蘭西、白耳義、瑞典等ニ於キマシテハ、新「マルサス」主義ノ宣傳及ビ避妊用器具ノ廣告ハ禁ジテ居リマスルケレドモ、米國ニ於キマシテハ、「サンガー」夫人、「ペンネト」夫人ナドガ有力ナル首唱者デアリマシテ、新團體ヲ諸所ニ組織イタシテ、活躍イタシテ居リマス、斯ノ如ク廣告ヤ宣傳ヲ禁ジテ居ルニモ拘ラズ、避妊相談所ガ諸所ニアリマシテ、又墮胎ノ數モ少カラザルヤウニ聞及ンデ居リマス、殆ド強制的ニ新「マルサス」主義ヲヤツテ居リマスルノガ、何事モ人間離レノシタ露西亞デアリマス、先般視察シテ歸朝セラレタ者ノ記載シタル物ニ依リマスルト、莫斯科ニ避妊指南所ガ三十二箇所アリマス、其一箇所ニ付テ一日ニ二三十人ヅツガ指南ヲ受ケニ參リマス、又公立ノ墮胎所ガ十箇所アリマシテ、其十箇所デ一日ニ二百人ヅツ取扱テ居ルト云フコトデアリマス、如何ニモ露西亞式デアリマシテ、人類道義ノ上カラ考ヘテ、不思議千萬ニ思ハレルノデアリマス、斯ノ如ク新「マルサス」主義ハ諸方ニ彌漫イタシマシテ、其間ニ現ハレマシタノガ「ガルトン」ノ統計的視察ト、「メンデル」ノ遺傳實驗的觀察ヲ本ト致シマシタル所ノ優生學、民族衛生學のヨリ唱道シタル所ノ産兒制限デ

アリマシテ、ソレハ低能デアルトカ、惡疾デアルトカ、或ハ精神異常ノアル者デアルトカ云フヤウナ者ノ子孫ヲ、防遏イタシ目的ヲ現ハレタノデアリマス、ソコデ今日世上ニ行ハレテ居ルノハ、新「マルサス」主義ニ加フルニ優生學の産兒制限法デアリマス、御承知ノ通り日本ニモ昔ニハ上下共ニ隨分赤ン坊ヲ捨リ殺シタ例ハ澤山アリマス、ソレハ御大名ノ前デ申上ゲテハ失禮デスガ、御大名ノ中ナドニモ澤山アツタノデアリマス、是ハ家庭ノ關係或ハ時ノ政治上ノ關係ナドデ、御大名デハ之ヲ水ニスルト申シテ居リマス、捨リ殺シテ置イテ水ニスルト云フコトニナツテ居、タノデアリマス、ソレ等ノ記録ハ澤山アリマスルガ、先ヅ御遠慮申シテ置キマス、ソレカラ天保頃カラ奉行ダノ代官ナドガ貧民救濟法ヲ講ジマシテ、子殺シヲ防禦スルコトニ致シマシタ、全體公カラハ徳川時代デハ禁ジテ居、タノデアリマス、墮胎ハ禁ジテ居、タノデアリマスルガ、ナカノ手ガ行届キマセヌデ、先ヅ殆ド黙許ノ状態ニアツタノデ、天保頃カラハ奉行ヤ代官ナドガ大ニ奔走シテ、貧民ナルガ故ニ子ヲ殺スノデアルト云フコトデ、救護法ナドヲ講ジマシテ、下總ノ佐倉藩内地方ナドデハ、子育陰徳講ト云フモノヲ起シマシテ、貧民ニシテ育兒シ難キ者ヲ救助シタノデアリマス、此帳面ナドハマダ我ノ手許ニモ殘テ居リマス、堀田伯ナドハサウ云フコトハ御存ジアルマイト思ヒマス、又知ラヌデモ宜イコトデアリマス、又此時代ニハ子供ヲ殺

スト云フコトハ甚ダ罪惡デアル、不道德デアルト云フノデ、諸所カラ子供育ツル教ヘ草ト云フヤウナ「パンフレット」ガ廻リマシテ、社會ヲ戒メタノデアリマス、ソコデ批評ヲシテ見マシレバ、「マルサス」主義ハ聖人君子ノ集團ノ國デナケレバ、チヨトムツカシイノデアリマス、之ガ英吉利ニ始マテ、英吉利ノ紳士ニ依テ行ハレ、又歐羅巴及ビ亞米利加ノ紳士ニ依テ行ハレタノデアリカラ、一時ハ盛ンデアリマシタケレドモ、晩婚、ソレカラ制慾、獨身生活、是ハナカノ仙人カ聖人カノ集リデナケレバ到底ムツカシイノデアリマス、又新「マルサス」主義ニナリマスルト、ドウシテモ避妊、墮胎法ニ依テナケレバナラナイノデ、此處ガ今日爲政當局者ノ御意見ヲ定ムル所デアリ、又我ニモ大ニ考究シナケレバナラヌ問題デアリマスル、今日ノ所デハ道義ヲ重ンズル日本帝國ガ、墮胎ニ付キマシテハ世界第一嚴重デアリマス、之ヲ手傳タ所ノ、即チ手術シタル所ノ醫者、産婆等ハ行政處分ヲ受ケマス、又手術フシテ貰、タ人間モ重イ刑ニ處セラルルコトニナツテ居リマス、是ハ私ハ當然ノコトデアラウト思フノデアリマス、人口調節ノ爲ニ産兒制限ヲ唱フルコトモ、一ツノ政策トシテ突出セラルベキ問題デアルト、私ナドモ考ヘテ居リマス、併ナガラ是ハ能ク考ヘナケレバナラヌコトデアリマシテ、佛蘭西ノ例ニ付テ考ヘマシタルノニ、佛蘭西ハ往年人口調節ヲ爲シタル爲ニ漸次人口ガ減少イタシマシテ、近年ニ

於テモ出産率ヨリモ死亡率ガ多クナリマシテ、從テ識者ハ國勢ノ衰微著シキモノアルヲ憂慮イタシテ居リマス、世界大戰時ノ如キモ、此制度ヲ非常ニ慷慨イタシタ書物ガ澤山著ハレテ居ルコトハ御承知ノ通りノ次第デアリマス、中ニハ佛蘭西ノ産兒制限ガ情性ニナツテ來タル此制度ハ、將來ノ危險デアルトマデ論ジマシタ人ガアリマス、此邊ガ我ニノ餘程考ヘナケレバナラヌコトデアリマシテ、今日識者ノ唱フル所ハ一年ニ七八十万人ノ人口増殖デ、是カラ段々進ンデ行タナレバ、食糧ニ非常ニ困難デアルト云フヤウナコトガ、先ヅ重モナル心配ナヤウデアリマス、併ナガラ、我ニハ子供ノ増スコトガ國寶ノ増スト同様ニ考ヘテ居ルノデ、爲政家ニ御願ヒ申シ、又我ニモ考究シテ、ドウカ此新「マルサス」主義ナドニハ共鳴シナイヤウニシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、此人口増殖ノ關係ハ、是ハ私ハ爲政家ノ力量如何ニ依リマシテ、如何トモナルモノデアラウト思フノデアリマス、世界ハ廣大ニシテ、尙ホ人口稀薄ノ國ガ澤山アリマス、而シテ生物愛ヨリ論ジマシレバ、其人口稀薄ノ地ハ、甲ノ物デモナク、乙ノ物デモナク、丙ノ物デモナク、人口濃厚ノ地ニ在ル者ノ物デアルト云フコトガ言ヘルノデアリマス、例ヘバ本國ノ人口ガ濃厚デアル所ノ英吉利、和蘭、白耳義等ハ、國外ニ廣大ナル植民地ヲ有テ居ルデアリマセヌカ、加之廣大ナル土地ヲ持チナガラ、尙ホ比律賓、布哇等ニ手ヲ伸バシテ居ル北米合衆國ノヤ

ウナモノモアリマス、而シテ人口ノ濃度ト稀薄度ト比較イタシマスルノニ、例ヘバ日本人ガ一里ニ一人ノ割合ニ住ムモノトスレバ、北米合衆國ハ一里ニ一人、加奈陀及ビ濠洲ハ共ニ百五十七里ニ一人ノ割合ニナルノデアリマス、右ノ割合ハ決シテ人類平等ノ生存權ヲ保有シタト云フコトハ出來ナイノデアリマス、之ヲ基督、釋迦、孔子ナドノ考ヘカラ申シマスレバ、人道ニ違反シタモノデアルト言ハナケレバナリマセズ、即チ人口ノ濃厚ナル地ニアル者ハ、人口ノ稀薄ナル地ニアル者ニ對シ、土地ノ平等ナル分配ト、經濟資源ノ公平ナル分配ヲ要求スルコトハ、道德上ノ權利デアテ、又世界人類ノ共同ノ幸福デアラウト思フノデアリマス、是ハ當サニ爲政家ノ後世大キナル手腕ニ俟ツベキモノデアリマシテ、而シテ又ソレハ決シテ難事デハナイト私ハ考ヘルノデアリマス、幣原外交ノ所謂定石外交ヲ以テスレバ、是ナドガ最モ定石ニ當嵌マル、道具外レヲ打タズニ濟ム所ノ正道ナル要求デアルト、私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデモウツハ、若モ其事ガ成ラナカッタトスレバ、人口増殖シテ食物ハドウスルカト云フノデアリマス、天惠ト云フモノハ實ニ驚クベキモノデアリマシテ、過去四十年間ノ歴史ニ徴シテ見マスルニ、人口ガ増殖スレバ、ソレダケ主食物ノ收穫高ガ増シテ來ルト云フコトガ甚ダ不思議デアリマス、御承知ノ通り明治十六年頃ハ人口ガ三千二百万人デアリマシタ、米ノ收穫ガ三千万石、

同ジク二十七八年頃ハ四千万人、米ノ收穫ガ四千万石、同ジク三十七八年頃ハ五千万人、米ノ收穫ガ五千万石、大正五年頃ガ人口ガ六千万人、米ノ收穫ガ六千万石、昭和五年ガ人口六千二百万人、米ノ收穫ガ六千七百万石、右様ノ收穫デアリマシテ、幸ヒニ主食物ガ米デアリマスル爲ニ、米ヲ取リマスルニハ誠ニ適シタル氣候溫和ナル土地デアリマス、是ニ副食物トシテ魚類ヲ得ルコトノ非常ニ容易イコトモ亦天惠デアリマス、四方環海ノ地デアリマシテ、到ル處魚類ノ取レザル處ハナイノデアリマス、營養食トカ、滋養食トカ、頻ニ喧マシク言フケレドモ、米ヲ能ク搗カズニ、ソレニ飼デモ食ベテ居リマスレバ、是ヨリ好イ滋養分ハナイノデアリマス、若シ米ガ足ラナケレバ、山デモ何處デモ取レル所ノ馬鈴薯、馬鈴薯ヲ嚙テ野菜ヲ食ベテ飼ノ一二匹モ食ベテ居レバ立派ナ滋養デアル、ソレ故ニ人口ガ二三百万ツツ殖エタ所ガ別ニ驚クコトハナイノデアル、是ト兩々相俟テマシテ、日本ノ人口増殖ハ左程恐ロシイモノデハナイト存ジマスルノデ、我々ノ意見トシテハ墮胎ハ固ヨリ避妊法ナドト云フコトモ、少シ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレガ一ツノ罪惡デアルト云フバカリデナク、避妊法ニシテモ、墮胎ニシテモ、其身體ニ非常ナ病ヲ殘シマス、是モ近頃外國カラ歸リテ來タ人ノ記載シタモノデアリマスルガ、伯林ニ於キマシテ墮胎シタ者ノ半分ハ子宮病ヲ起シマス、而シテ其三分ノ

一ハ死亡イタシマス、避妊ニ於テモサウデアリマス、不完全ナ避妊法ニ依リテ爲サレタル所ノ避妊ハ後ニ容易ナラザルヲ殘スノデアリマス、此邊ハ能ク考慮イタシマシテ、當局者ニ於キマシテモ、徒ラニ此避妊法、特ニ墮胎法ナドニ共鳴シナイヤウニ、今日カラ願ヒ置キタイト思フノデアリマス、之ニ付キマシテモ、當局者ハ目下ドウ云フ御高見ヲ持ッテ御出ニナルカト云フコトヲ伺ッテ置キマスコトガ、我々ノ今後考究スル上ニ於テ必要ナコトデアルト存スルノデアリマス、尙モウ一ツアリマスルガ、時間ノ都合上今日ハ是マデニ致シテ置キマス

午後二時八分開議

○議長(公爵近衛文麿君) 休憩ヲ致シマス、午後一時三十分ヨリ開會イタシマス

午後零時十四分休憩

○副議長(公爵近衛文麿君) 書記官ヲシテ報告イタサセマス

〔小林書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ送付セリ

著作權法中改正法律案

大正十三年法律第二號中改正法律案

○副議長(公爵近衛文麿君) 午後ノ會議ヲ開キマス、金杉英五郎君

〔金杉英五郎君演壇ニ登ル〕

○金杉英五郎君 第二ニ内務大臣ニ御伺ヒ申シマスルコトハ、結核病ノ始末ブドウナルサルカト云フコトデアリマス、此質問ヲ

開始スルニ先ダチマシテ、午前ニ産兒調節ノ御質問中ニ、避妊ノコトニ付キマシテ少シク不穩當ナル言葉ノアリマシタルコトヲ議長ヨリ注意ヲ受ケマシタ、段々考ヘテ見マシタラ、御尤モ千萬ノコトデアルト考ヘマス、科學的ノ言葉ハ如何ニ注意ヲシヤウト思ヒマシテモ、知ラズ識ラズ、ア、云フコトガ...何ト云フコトハ申シマセヌガ、ア、云フコトガ出マスルノデ、誠ニ注意ノ上ニモ注意ヲシテ居、斯ノ如キコトノ出來マシタルコトハ、大シテ申譯ガナイトモ思ヒマセヌケレドモ、宜シクナイコトデアルト云フコトハ、自覺イタシタノデアリマス、改メテ取消シマスル意味デモアリマセヌガ、大イニ慎ミマスルコト云フコトダケハ申上ゲテ置キマス、私ハ結核病ノ豫防撲滅ニ付キマシテハ歴代ノ政府ニ對シ、貴衆兩院ヲ通ジテ既ニ十數回ノ質問ヲ重ネテ居リマスル、御承知ノ通り歐米諸國ニ於キマシテハ、結核豫防撲滅ノコトハ既ニ實行期ノ半バヲ過ギテ居リマスル際ニ、結核豫防撲滅ニ關スル質問應答ヲ帝國議會ノ壇上ニ於テ今尙ホ交換シテ居ルト云フコトハ、列國ニ對シテ誠ニ恥カシキ次第デアリマスルガ、當局者ガ奮發シテ之ヲ實行イタシ、其實績ノ舉ルマデハ、命ノアラム限リハ此壇上ニ登リマシテ質問ヲ重ネテ、皆様ニ御迷惑ヲカケルト云フコトヲ豫メ申上ゲテ置ク次第デアリマス、申上ゲルマデモナク結核病豫防ノコトハ、目下我國ニ閉却サレテ居ル各種ノ事業ノ中デ、最モ緊急ニシテ且ツ

最モ重大デアルト云フコトハ、少シク心アル人ハ悉ク御信ジ下サルコト存ジマス、安達内務大臣ハ衛生保健ニ大ナル理解ノアル御方デアリマス、其證據ハ今議會ニ於キマシテモ衛生保健ニ關スル各種ノ法案、衛生組合法案、癩豫防法案、寄生蟲豫防法案等、必要ナル法案ヲ澤山御提出ニナリマシタ、此衛生組合法ヲ初メ悉ク滿場一致ヲ以テ通過セナケレバナラヌ目下緊急ノ案バカリデアリマス、新聞ニ依リマスルト衛生組合法方多少行惱ンデ居ルト云フヤウナコトモ記載シテアリマスルガ、幣原首相代理ノ御説ノ如ク新聞ノ記事方虚權デアリ捏造デアルトスリヤ別問題デアリマスルガ、之ガ事實デアッタトシタナラバ、由々敷キ一大事ト思フテ居リマス、是ハ安達内務大臣ノ出シタル案ヲ迎合スルト云フ意味バカリデアリマセス、或場合ニハ安達内務大臣ノ言論行動等ニハ迎合シナイコトモ澤山私ハアリマスケレドモ、是等ノ案ハドウシテモ虚心恒懷ニ國家ノ保健衛生ノ上カラ是非通サナケレバナラヌ案デアルト私ハ信ジテ居ル、斯ノ如ク安達内務大臣ハ不思議ニモ衛生保健ノコトニ非常ニ熱心デアリマス、理解ガアリマス、唯遺憾トスルノハ最モ緊急ヲ要スル結核病豫防撲滅ニ對スル施設ノ、尙ホ緩慢遲延ノ状態ニアリマスルコトデアリマシテ、昨年ノ本議會ニ於テモ申シマシタル通り、往年結核豫防法ノ中ノ第六條第八條ニ依リマシテ、差當リ全國ノ人口五万以上ノ市街ニ公立療養所一箇所宛ヲ設置スルノ規定

トナッタデアリマシタ、ソレガ出來マシレバ丁度六十箇所ニナリマスル譯デアリマスルガ、今日迄出來マシタノガ僅ニ十六箇所デアリマス、其十六箇所ニ私立病院ノ結核病收容所數ヲ加ヘテ僅々六十七箇所、其病床ノ數ハ六千餘ニ止テ居ルデアリマス、其後今日ニ至ルモ公私共ニ其療養所並ニ病床數ノ別ニ增多シタル模様モアリマセス、之ヲ他ノ列國ニ比ベテ見マスルト、御話ニナラナイ程ノ差ガアルデアリマス、我ガ帝都タル東京市ニ於キマシテモ、結核患者ノ數ハ大凡十三萬人ト統計ニハ載テ居リマスルガ、實際ハ其倍モ三倍モアルデアリマス、多クハ隱シテ居ル、結核病届出規則ト云フモノノナイ爲ニ多クハ隱シテ居ルノデ、現ハレテ居ル所ハ十三万デアッテモ、實際ハ其二倍三倍ニ達シテ居ルデアリマス、之ニ收容スル所ノ病床ノ數ハ東京市療養所ガ八百七十、其他公私立病院ヲ合シテ二千ヲ超エザル状態デアリマス、十三万乃至二十万モアリマスル患者ニ二千ノ病床數デハ之ガ豫防或ハ隔離ノ效力ヲドウシテ發揮スルコトガ出來マセウカ、申上グルマデモナク、此病ハ傳染病デアリマシテ、今日デハ此豫防撲滅ノ法トシテハ、唯患者ヲ隔離スルノ外ハナイデアリマス、前申シマシタル通り、外國ニ於キマシテハ、結核療養所ノ數モ、又病床ノ數モ實ニ大シタモノデアリマシテ、茲ニ丁抹、加奈陀、獨逸、北米合衆國、澳地利、イングランド、ウエールス、佛蘭西、白耳義、伊太利、チエッコ、

スロヴァキア、洪牙利、此諸國ノ病床數ト結核死亡數ト、ソレカラ結核病死者百人ニ對スル病床數トノ表ガアリマスルガ、其一ニヲ申上ゲマスレバ、加奈陀ガ結核病ノ病床數九千七百四十九、一箇年ノ結核死亡數ガ七千九百三十人、結核死亡者百名ニ對スル結核病ノ病床數百二十二・九、是ガ加奈陀デアリマス、獨逸ハ結核病病床數ガ五万七千五百七十一、一箇年結核死亡者百名ニ對スル結核病ノ病床數ガ八十四、ソレカラズ、ト下ツタ所デ伊太利ガ結核病ノ病床數一万五千九百十七、一箇年ノ結核死亡數ガ五万九千八百二十七、結核死亡者百名ニ對スル結核病室ガ二十六・六デアリマス、日本ハドウデアアルカト申シマスルノニ、結核病床、即チ結核患者ノ病室ガ僅ニ二千二百十六デアリマス、之ニ反シテ結核ノ爲ニ死亡スル者ガ十一万九千四百三十九人、結核病者百名ニ對スル病室ノ數ガ五ツデアリマス、非常ナ相違デアリマス、而シテ今デハ露西亞、或ハ「バルカン」半島ノ二三ノ國ヲ除クノ外ハ、日本ガ結核ノ數ハ一番多イデアリマス、ソレ故ニ、亞米利加、英吉利、獨逸アタリノ人ハ日本ヲ傳染病國ト稱シテ寧扶斯デアレ、猩紅熱デアレ、赤痢デアレ、斯ノ如キ急性傳染病及ビ慢性傳染病タル結核ハ世界第一デアルト云フノデ、傳染病國ト稱シテ居リマス、觀光局ナドト申シテ頻ニ客ヲ呼ブ工夫ヲシテ居リマスルガ、日本ニ入テ來ル紳士淑女ハ非常ナ恐レヲナシテ入テ參リマス、

我々ノ知ッテ居ル範圍ニ於キマシテハ、特ニ皆サン御承知デアリマセウガ、帝國ノホテ「ナド」ニ泊リマスル客ハ野菜物ヲ食ベマセヌ、殊ニ「キヤベツ」ヲ食ベマセヌ、アノ中ニハ寧扶斯ハ固ヨリ、色ニナ菌菌ガ入ッテ居ルト云フノデ食ベマセヌ、御承知ノ通り歐米人ハ野菜物ガ殊ニ好キデアリマスケレドモ、我慢ヲシテ食ベズニ居リマス、サウ云フ状態デアリマス、此表ハ内務大臣ノ命令ノ下ニ、衛生局長ノ拵ヘタル表デアリマシテ、誠ニ良イ表デアリマス、何レ議長ノ御許シヲ得マシテ、此表全體ヲ速記録ニ載セテ置キマスルコトハ、後々ノ參考ニナラウト存ジマス……御許シヲ得マシタカラ……現下日本全體ニ付テ觀察イタシマスルノニ、結核ノ豫防トシテハ誠ニ無關心デアリマス、第一ニハ、最モ早ク隔離シナケレバナラヌ、隔離ヲスルノニハ療養所ガナケレバナラヌ、病床ノ數ガ多クナケレバナラヌト云フノニ、ソレガ以前申シタル通りデ、全國ニ二百何十万ト云フ結核患者ノ居ルノニ、僅ニ六千ノ病床デアリマス、何ト云ッテモ是ハ豫防ノ仕様ガナイ、悉ク雜居シテ居ルデアリマス、結核ト雜居シテ居ルノデアリマス、一ツノ痰ノ中ニ多クハ數億、少クモ一万余カラノ菌菌ノ居リマスル所ノ痰ヲ方々ヘ吐キ通シデアアルシ、又一家一族、殊ニ貧民ニ於キマシテハ、毎日一緒ニ居リ、一緒ニ物ヲ食ベテ居ルノデアリマスルカラシテ、日々殖エテ行クトモ滅ル氣遣ヒハナイノデ、丁度我國ノ學術ノ進歩ト反比例シ

テ居ルノガ結核及傳染病蔓延ノ状態デアリ
マス、而シテ此結核病ガ「ベスト」ヤ「コレ
ラ」ノヤウニ一時的ノモノデアラナラバ左
程恐ロシクモアリマセヌ、又今度出サレタ
ル法案ノ類ノ如キモノデアラナラ傳染力ガ
非常ニ弱イノデアリマス、是ハ格別怖ロシ
クハナイノデ、結核ハ傳染力ガ非常ニ強タ
チ、サウシテ今日ノヤウニ蔓延シテ居ルノ
デアリマスカラシテ、此儘ニシテ置キマシ
タナラバ國民全體ガ結核病者ニナルト云フ
コトヲ言フテモ決シテ差支ナイモノデアラ
ウト思フノデ、學理上カラサウ云フ譯ニナ
ルノデアリマス、死亡數ガ十二、三万乃至
二十二、三万人モ年々アルト云フヤウナコ
トハ、他ノ事柄ニ於テノ死亡數ニ比較シテ
モ非常ニ多イ、御承知ノ通り日露戰爭ハ世
界大戰ニ亞イデノ大戰等デアリマシタガ、
其死亡者ハ十方ヲ出デマセヌ、大正十二年
ノ大震災災ハ近年稀ナル震災デアリマシタ
ガ、其死亡數ハ九方ヲ出デマセヌ、然ルニ
結核ハ年々十二、三万、正確ニ調べレバ二
十何万ト云フモノガ死亡シテ居ルノデアリ
マス、其死亡ノ爲ニ當人ハ兎モ角モ周圍ノ
能率ヲ減少スルコトト、從テ國民思想ノ全
般ニ惡影響ヲ及ボスト云フコトハ、モウ別
ニ私ハ改メテ申ス迄モナク大變ナコトデア
ルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此儘拾
置キマシタナラバ經濟上ヨリ考ヘマサル
モ、思想上ヨリ考ヘマシテモ、容易ナラザ
ル禍根ヲ生ズルニ至ルデアラウト思ヒマス
ル、而シテ之ガ豫防撲滅ハ困難デアアルカト

申シマスルト、歐米ノ例ニ依リマシテモ決
シテムツカシイコトデハナク、唯療養所ノ
設置ガ非常ニ大切ナコトデアリマス、ソ
レ故ニ當事者タル内務大臣ハ此際大奮發ヲ
致シテ、既定ノ療養所設置ノコトハ固ヨリ、
進シテ大イニ療養所設置ノ方法ヲ講ジナケ
レバナラヌト思フノデアリマス、斯ク伺
ヒマスレバ、必ズ其御答ニハ、財政緊縮ノ
折柄デアリ財源ガナイ、行政整理デモシテ
カラト云フヤウナコトデアリマセウガ、御
承知ノ通り結核豫防撲滅ハ一ツノ大戰争ト
シテ歐米諸國デハカカテ居、クノデ、之ガ
一國ト一國トノ戰争デアッタナラバ、國民總
動員、一錢ノ金マデモ出シテ戰ハナケレバ
ナラヌ筈ノモノデアリマス、殆ド抛
リ放シテ置クヤウナ状態デアリマシタラ
バ、戰爭ト云フ意味ヲ唯人間ト人間、一國
ト一國ノ擱ミ合ニ歸スルノミト評シテモ差
支ナイコトデアテ、甚ダ面白カラザルコト
ノヤウニ思フノデアリマス、其財源ニ付キ
マシテハ色々案ガアルト私ハ思フ、若槻内
閣時代ニ不可解ナル社會政策ノ下ニ賣藥稅
廢止ヲ決行サレマシタ、其當時モ私ハ抗議
ヲ申込ミマシタ、賣藥者ガ別ニ懇願スル意
味デモナイ賣藥稅ヲ何故ニ廢スカ、賣藥稅
ト云フモノハ元和蘭人ノ忠告ニ依テ、衛生
費ニ使ッタラ宜カラウト云フコトガ元デ、今
カラ五十年程前ノ衛生局長ガ之ヲ取り出シ
タノガ初メデアアル、元衛生費ニ使フト云フ
積リデアッタノガ、稅ガ段々多クナッタノデ、
大藏省ニ皆ナ取上ゲラレタト云フヤウナ經

歴ガアルノデアリマス、丁度若槻内閣ノ時
ニハ一千百万圓程ノ稅デアリマシタガ、今
日デハ賣藥稅ヲ廢シタル爲ニ出願者ガ續出
イタシマシテ、少クモ二千三百万圓ニハ
達シテ居ルノデアリマス、是ガ可ナリ結核
豫防撲滅ニ使ヒ得ルト思フノデアリマス
ル、斯ノ如キ不可解ナル社會政策ヲ振廻ス
コトハ、何ノ益ナキノミナラズ、唯黨利黨
略ト云フヤウナコトバカリ疑ハレルダケ
デ、社會政策ノ上ニハ何等ノ效果モナイノ
デアリマス、藥劑師ノ方モ出デアリマシ
テ御立腹カモ知レマセヌケレドモ、是ハ其
以前ニモ私ガ申シタル通り、賣藥稅ヲ廢シ
タカラトテソレガ保險衛生上ニドノ位ノ效
果ガアルカ、是ハ内務大臣ガ其後必ズ御調
ベニナリマシタト思ヒマスカラシテ、此社
會政策ト云フモノガ、ドノ位ノ效果ガアタ
ト云フコトモ、序デニ何テ置クコトハ我ミ
ノ參考ニナルト思フノデアリマス、モウ一ツ
ハ全國ノ多額納稅者カラ、殆ド一万人程カラ
シテ、一千万圓宛寄附サレバ一億圓出マス、
是ハ英吉利デモ、白耳義デモ亞米利加デモ、
皆ナシタコトデアリマシテ、平均一千万圓宛出
セバ一億以上ニ達シマスルカラ、是モ可ナ
リノ財源デアリマス、安達内相ノ手腕ヲ以
テスレバ、是モ極ク易々タルコトデアルト
私ハ信ジマス、モウ一ツハ全國ノ公立病
院、例ヘバ赤十字病院、其他各種ノ公立病
院、私立病院ト云フヤウナモノヲ差當リ悉
ク結核患者收容所ニ充テタルコトデアリマ
ス、之ガ非常ナ名案デアリマシテ、結核患

者ノ兵營ニナル、其處ハ押込メテ、大イニ
健康者ガソレト戰フト云フ譯デアリマス、
是モ私ハ非常ニ名案ダト自分デ考ヘテ居リ
マス、其他當事者ニ於キマシテハ、必ズヨ
リ良キ名案ノアルコトハ御推察申シテ居ル
次第デアリマスルカラ、何等ノ方法ニ依ル
ニ拘ラズ、一日モ早く收容所ヲ増設シテ、
病床ヲ増加イダシテ、一人モ多ク結核患者
ヲ隔離スルト云フコトガ大切デアルト云フ
コトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、然ラザレ
バ過日モ申シタル通り、安達内務大臣ハ衛
生保健、衛生保健ト唯其聲ヲ大ニシテ實行
セザルノ人デアアル、斯ウ私ハ後ニ言ヒタイ
ト思フノデアアル、是ガ大切ナ分レ目デアリマ
ス、折角衛生保健ニ御盡力ニナッテモ、最モ
大切ナル結核豫防ノコトニ丸デ冷淡デア
ル、冷淡デアルト云ウテハ相濟ミマセヌ、
唯頗ル意ハ用キテ居ラルルデアラウケレド
モ、マダソコニ至ラナイト云フノハ甚ダ遺
憾千萬ニ存ズルノデアリマス、寄生蟲豫防
法案モ結構、癩豫防法案モ結構、衛生組合
法案ニ付テハ特ニ結構デアリマス、是等モ
亦結核豫防ノ上ニ間接直接ニ大ナル關係ガ
アリマス、ケレドモ其最モ大切ナルモノガ
結核豫防デアアル、斯ウ云フコトヲ頭ニ初中
終御入レニナリマシテ、他ノコトハ先ヅ外
ノ人ニ御委セニナッテ、全力ヲ結核豫防ニ御
集注ニナルト云フコトガ今日ノ急務デアラ
ウト、私ハ考ヘルノデアリマス、長ク自分
ノ意見ダケヲ申述ベテ甚ダ相濟マヌコトデ
アリマスルケレドモ、之ニ付テドウ云フ御

考ガアルカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス、尙ホ度々申上ゲテ相濟マスコトデアリマスルガ、私ノ方ヘハ議長ノ聲ヨリ外ハ是マデ聞エタコトガ無イノデアリマス、成ルベク高イ聲デ御明答アラムコトヲ切ニ御願ヒ致シマスル次第デアリマス

〔國務大臣安達謙藏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(安達謙藏君) 金杉サシヨリ午

前午後ニ互リマシテ人口食糧問題、産兒制限問題又結核豫防撲滅ニ關スル御高説ヲ承リマシタ、其御質問ノ大要ニ付キマシテ御答ヲ致シマス、人口食糧問題ニ付キマシテ種々ノ御高説ヲ謹聽イタシマシタガ、私特ニ御答ヲセテケレバナラヌ所ノモノハ、其中ニ於キマシテ、御話中ノ人口ノ稀薄ノ土地ハ人口濃厚ナル地方ノ者ノ所有デアルト云フ意味ノ御話ガアツテ、人類平等ノ生存權カラ申シタラ、全ク御話ノ通りト考ヘマシルケレドモガ、此理想ヲ實現スルト云フコトハ、殊ニ世界ノ舞臺ノ上ニ立チマシテ之ヲ實現スルト云フコトハ、容易ナコトデハゴザリマセヌガ、我國ノ勢力ノ範圍内ニ於キマシテモ、御話ノ通り、人口ノ稀薄ナ所ト濃厚ナ所トアリマスカラ、此間ノ調節ハ大分出來ルコトト考ヘテ居リマス、金杉サシハ人口ノ増殖ハ恐ル、ニ足ラヌト云フ御話デアリマシテ、私モ全然御同感デアリマス、産兒制限ナドノ御質問デアリマスカラ、人口ノ増殖ニ付テノ調節ノ御意見カト考ヘマシタラバ、大體ニ於テ人口ノ増殖恐ル、ニ足ラヌト云フ御話ニハ全然御同感デア

アリマス、而シテ人口ノ増スニ從テ、其國ノ動植物ト云フ御話デアリマシタ、其動植物ナドモ増シテ行ク、收穫高ガ増加スル、斯ウ云フ御意見デアアル、是モ私御賛成申シマス、全クサウト考ヘテ居リマス、日本ノ今日米麥ナドノ收穫高ノ増加スルノモ御意見ノ通りデアリマスカラ、就中其御話ノ中ニ此魚類ノコトヲ御話ニナリマシタ、是ハ多年海洋立國論ヲ支持シテ居ル私ト致シマシテハ、非常ナル愉快ナ御話ヲ拜聽イタシマシテ、此魚類ノ收穫高、殊ニ四面環ラスニ海ヲ以テシテ居ル日本ノ魚類ノ收穫高ハ、今後其方法宜シキヲ得タラバ、私ハ金高ニ積リマシテ北ヨリ、南ヨリ、各方面ノ魚類ノ收穫高ハ、今後數億圓ヲ以テ數ヘテ宜イヤウナ増收ガアリハセヌカト云フ位ノ理想ヲ描イテ居リマスカラ、是ハ日本ノ人口、食料問題ニ、御話ノ通り大關係アルコトト考ヘマス、人口ノ増加ヲ調節スベク懸念スルヤウナ論者モアリマスケレドモガ、御話ノ通り、人口ノ増殖ヲ私ハ決シテ恐レヌ、恐レヌノミナラズ、國ノ進歩ハ人口ノ増加ト比例スルト申シテモ私ハ宜シイカト考ヘテ居リマス、我國ノ維新以來、今日マデノ發達イタシマシタノモ、人口ノ増加ニ大關係ヲ有スルト考ヘテ居リマスカラシテ、將來モ我國ノ進運ニ付キマシテ、人口ノ増加ヲ之ヲ避ケルヤウナ態度ヲ取ルベキモノデナイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、唯此産兒制限ノ問題ニ關係イタシマシテハ、先刻御話ノ優生學的産兒制限法ト申シマスカ、

人ノ遺傳ニ依ル病氣トカ、或ハ御話ノ低能、惡疾トカ、精神異狀トカ云フヤウナ方面デス、サウ云フ方面ニ付テ此産兒制限ヲスルト云フコトハ、餘程考慮スル必要ハナカラウカト云フコトハ考ヘテ居リマス、而シテ産兒制限ニ付キマシテハ、内務省ニ於キマシテ保健衛生調査會ガアリマシテ、其中ニ民族衛生ニ關スル特別委員ガ設ケテアリマシテ、専門家ノ研究ノ一ツトシテ目下研究中デアリマス、而シテ同委員會ニ於キマシテハ、差當リ此避妊ノ用ニ使用イタシマシル所ノ器具器械デアリマシテ、此器具器械ノ、御話ノ通り衛生上有害ナルモノノ販賣ヲ禁止スルノ必要ヲ認メマシテ、其特別委員會ノ答申ガアリマシタカラシテ、其意見ニ基キマシテ内務省令ヲ以テ、有害ノ避妊用ノ器具取締ノ規定ヲ制定イタシマシテ、本年ノ一月ヨリ之ヲ實行スルコトニナツテ居リマス、又人口問題ニ付キマシテハ、前内閣ノ時カラ、人口食糧問題調査會ト云フモノガアリマシテ、其人口部會ニ於キマシテ、斯ウ云フコトガ決定サレテ居リマス

「一、内外移住方策」一、労働需給調節ニ關スル方策一、内地以外諸地方ニ於ケル人口對策、一、人口統制ニ關スル諸方策、一、生産増進ニ關スル答申、一、分配及消費ニ關スル方策答申、ソレカラ決議ト致シマシテ「一、人口問題ニ關スル常設調査機關設置ニ關スル件、一、社會省設置ニ關スル件」一、斯ウ云フコトガ決議サレテアリマシテ、ソレデ此人口調査會ナルモノハ、今後設ケテイト云フ考ヲ持テ居リマス、日本ノ人口ノ動態ニ徴シマシテ、非常ニ日本ハ死亡率ガ高イ、サウシテ出生率モ更ニ著シク高クアリマス、其結果ガ日本ハ非常ナ多産國デアルト同時ニ多死國デアリマス、斯ウ云フ奇態ナ現象ヲ呈シテ居リマシテ、國民ノ平均年齢ガ御承知ノ如ク短キコトモ大ニ注意ヲ要シマスカラ、此點ニ付キマシテハ、今後十分調査ヲ進メタイト云フ考ヲ持テ居リマス、ソレカラ只今ノ御質問ノ結核病豫防撲滅ニ關シマスルコトハ、是ハ色々統計等ノ數字ヲ御讀上ゲニナリマシタガ、全然御讀上ゲニナリマシタ通りデアリマス、此結核病ノ豫防撲滅ノコトハ頗ル大問題デアルト同時ニ、頗ル至難ナ問題デアリマシテ、我國ノ衛生上ニ於キマシテ最モ至難ナル事業ト考ヘテ居リマス、決シテ之ヲ閑却イタシテハ居リマセヌケレドモガ、其事業ガ意ノ如ク進歩イタシマセズ、御希望ニ副フヤウニ參ラザルヲ甚ダ遺憾ト致シテ居リマス、去リナガラ出來得ルダケ此結核療養所増設等ノコトニ付キマシテハ注意ヲ致サウト考ヘテ居リマス、本年ノ豫算ニモ是ハ特別ニ公益法人ノ經營スル所ガ若手縣ニ出來ルコトニナツテ居リマス、其他道府縣ノ豫防ノ補助、又療養所ノ爲ニ出ス金モ相當ニ議定イタシテ居リマス、地方ニ續々療養所ガ出來マセヌ原因ハ何カト申シマスト、第一ハ財政關係デアリマスカ、唯財政關係ノミデアリマセヌ、地方ノ都市ノ市民ガ其療養所ヲ設ケマスコトヲ非常ニ忌ミ嫌ヒ

マス、非常ニ嫌ヒマス爲ニ最早出來ネバナ
 ラヌヤウニ諸般ノ準備ガ整ウテ居リマシテ
 モ、數年間出來ザル所ガアリマス、近キ一
 例ヲ申シマスト廣島市ノ如キガ其一ツデア
 リマス、廣島市ニモ近來出來ルコトニナッ
 ト云フコトデアリマスガ、財政關係トソレ
 カラ地方市民ガ非常ニ此設立ヲ嫌フ爲ニ、
 此療養所ノ増設ノ意ノ如クナラザルコトヲ
 甚ダ遺憾ト致シテ居リマス、併ナガラ有ラ
 ニル故障ヲ廢シマシテ、出來得ルダケ御希
 望ニ副フヤウニ努力イタシタイト云フコト
 ヲ切ニ感ジテ居リマス、只今其財源等ノコ
 トニ付キマシテ種々ノ御話ガアリマシタ
 ガ、是ハ御話ニ依リマシテ財源ヲ研究スル
 一ツノ資料ト致サウト考ヘテ居リマス、公
 立及ビ私立病院ヲ、之ヲ悉ク結核患者ノ收
 容ニ充ツルコトト云フ御意見モ、是ハ有力
 ナル御意見ト思ヒマスカラ、謹ンデ私ハ承
 聽イタシテ置キマス、地方ノ狀況ニ應ジテ
 幸ニサウ云フコトニナリマスレバ、誠ニ幸
 福ト考ヘテ居リマス、要シマスルニ、結核
 病ノ今日非常ニ全國ニ擴ガリマスコトハ申
 上ゲル迄モアリマセヌ、殊ニ從來農村ハ頗
 ル結核患者ガ少カッタノガ、都市ノ紡績ナド
 ニ女工ガ參リマシテ、サウシテ結核ニ感染
 シテ歸ル爲ニ、農村モ近來結核ノ流行スル
 コトガ甚シイヤウナコトヲ認メテ居リマシ
 テ、決シテ一日モ閑却スベカラザル是ハ大
 切ナル問題ト考ヘマスカラ、出來得ルダケ
 努力イタシマス、ドウゾ左様ニ御承知願ヒ
 マシテ、アナタ方ノ醫會ノ方面カラモ十分

御同情下サイマシテ、官民一致シテ其治績
 ノ舉ルヤウニ致シタイト云フコトヲ切ニ感
 ジテ居リマス

○金杉英五郎君 只今安達内務大臣ノ御答
 辯ハ誠ニ懇切ナルモノデアリマシテ、何等
 反問スルコトハアリマセヌ、是ニテ私ノ質
 問ハ打切りマス

○副議長(公爵近衛文麿君) 本日ハ本院規
 則第六十條ニ依リマシテ、是ニテ延會ヲ致
 シマス、次ノ議事日程ハ決定次第彙報ヲ以
 テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イ
 タシマス

午後二時五十八分散會

(參照)

結核病ニ關スル各國統計表

(一九二七年度)

國名	結核病床數	一ヶ年結核死亡數	結核死亡者百名ニ對スル結核病床數
デンマーク	三、五六五	二、八一	一一六・六
キヤナダ	九、七四九	七、九三〇	一一三・九
獨逸	五七、五七一	六一、四〇八	八四・〇
北米	七二、七三三	八七、五六七	八三・一
オーストリア	九、〇六三	一一、六三六	七七・九
イングランド・ウェルズ	二、三、一九八	三、八一七・三	六〇・八
フランス	二、四、三九〇	六、六八四・三	三六・五
白耳義	二、六二〇	七、九三四	三三・〇
伊太利	一、五、九一七	五、九八二・七	二六・六
チエッコスロヴァキア	六、二二九	二、八〇〇	二二・二
ハンガリー	三、三五〇	二、〇、三四五	一六・五
日本	六、二二六	一一、九、四三九	五・二

